

# 松川都市計画基礎調査報告書

( 概 要 版 )

令和7年3月

長野県松川町



## 目 次

① 人 口	1
C0101 人口規模	1
C0103 将来人口	4
C0104 人口増減の内訳	6
C0105 通勤・通学移動	8
② 産 業	11
C0201 産業・職業大分類別就業者数	11
C0202 事業所数・従業者数・売上金額	19
③ 土地利用	28
C0302 土地利用現況	28
C0304 宅地開発状況	30
C0305 農地転用状況	31
C0307 新築状況	32
C0308 条例・協定	35
④ 建 物	37
C0401 建物用途別現況	37
C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ現況	39
⑤ 都市施設	41
C0501 都市施設の位置、内容等	41
⑥ 交 通	42
C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度	42
C0603 鉄道・路面電車等の状況	44
C0604 バスの状況	44
⑧ 自然的環境等	45
C0803 緑の状況	45

---

○ 数字の表章単位未満は、四捨五入を原則としている。したがって、総数と内容の計が一致しない場合がある。

○ 図表中や図表名、資料名に時点の記載がない場合は、令和5年（2023年）の値である。



# ① 人 口

## C0101 人口規模

### C0101-1 人口総数及び増加数

平成12年から令和2年までの松川町行政区域の人口推移を見ると、平成17年までは増加傾向にあったが、平成22年に減少に転じ、令和2年には12,530人となっている。

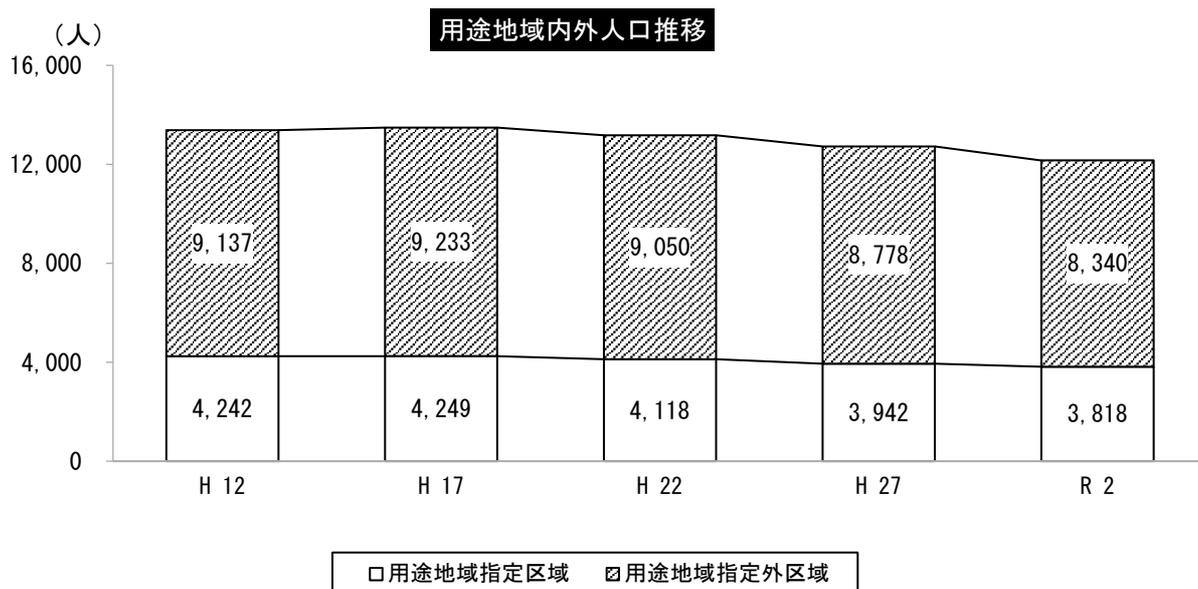
また、令和2年の用途地域指定区域人口は3,818人となっており、総人口の30.5%にあたる。人口推移は、令和2年には平成27年と比較して124人の減少となっている。用途地域指定外区域においても同様の減少傾向が見られる。

平成12年と令和2年での人口増減率は、用途地域指定区域では10.0%減(424人)、用途地域指定外区域では8.7%減(797人)となり、各年毎の増減率を見ると、平成22年以降の下落幅が著しい。

表1-1 人口推移

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 男女, 年齢(5歳階級), 国籍総数が日本人別人口)

区 域	H12年 人口	12年～17年 の増減		H17年 人口	17年～22年 の増減		H22年 人口	22年～27年 の増減		H27年 人口	27年～令和2年 の増減		R2年 人口
		人口	率		人口	率		人口	率		人口	率	
行政区域	人 14,070	人 47	% 0.3	人 14,117	人 △441	% △3.1	人 13,676	人 △509	% △3.7	人 13,167	人 △637	% △4.8	人 12,530
都市計 画区	13,379	103	0.8	13,482	△314	△2.3	13,168	△448	△3.4	12,720	△562	△4.4	12,158
用途地 域指 定区 域	4,242	7	0.2	4,249	△131	△3.1	4,118	△176	△4.3	3,942	△124	△3.1	3,818
用途地 域指 定外 区域	9,137	96	1.1	9,233	△183	△2.0	9,050	△272	△3.0	8,778	△438	△5.0	8,340



## C0101-2 年齢・性別人口

令和2年の5歳階級別人口を見ると、男女とも第1次ベビーブームに該当する世代である65～69歳、70～74歳の人口が多くなり、年少人口は減少している。平成12年と令和2年を比較すると、つりがね型から壺型に移行しており、40歳未満の人口に減少傾向が見られる。

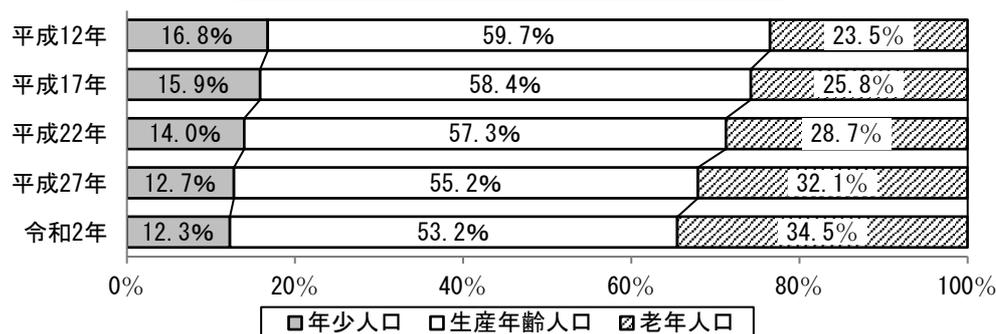
年齢3区分別人口でみると、年少人口と生産年齢人口の割合は平成12年から令和2年まで一貫して減少し続け、老年人口の割合は増加し続けている。平成12年から令和2年までの期間で年少人口が2,359人から1,535人(34.9%減)、老年人口が3,306人から4,324人(30.8%増)となっており、構成比でみると年少人口が16.8%から12.3%、老年人口が23.5%から34.5%と変化していることから、少子高齢化の進行が顕著である。

表1-2 5歳階級別年齢・性別人口推移(行政区)

(平成12, 17, 22, 27, 令和2年国勢調査 男女, 年齢(5歳階級), 国籍総数か日本人別人口)

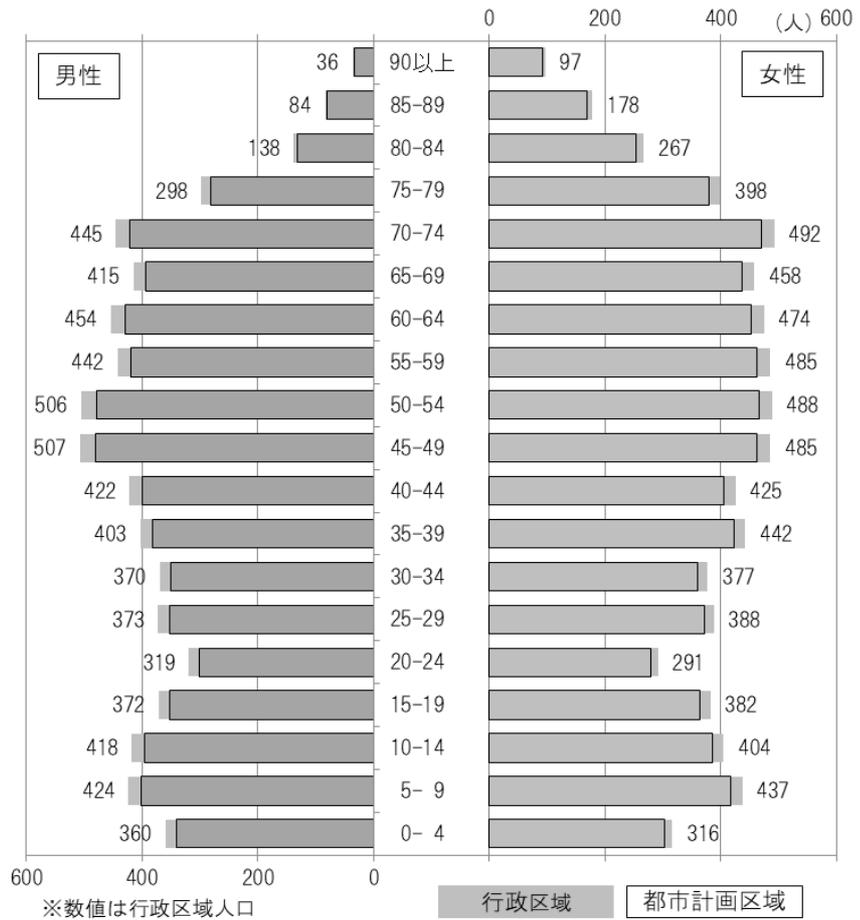
階級	平成12年			平成17年			平成22年			平成27年			令和2年		
	総数	男	女												
0～4	676	360	316	640	301	339	509	258	251	475	235	240	445	229	216
5～9	861	424	437	739	388	351	644	305	339	549	284	265	524	268	256
10～14	822	418	404	860	426	434	757	395	362	652	316	336	566	289	277
15～19	754	372	382	681	344	337	709	345	364	618	305	313	548	258	290
年少人口	3,113	1,574	1,539	2,920	1,459	1,461	2,619	1,303	1,316	2,294	1,140	1,154	2,083	1,044	1,039
20～24	610	319	291	556	266	290	455	226	229	440	221	219	421	231	190
25～29	761	373	388	706	368	338	590	290	300	514	273	241	490	253	237
30～34	747	370	377	819	408	411	718	379	339	607	306	301	497	257	240
35～39	845	403	442	794	405	389	817	409	408	738	379	359	610	308	302
40～44	847	422	425	852	416	436	812	399	413	830	412	418	770	390	380
45～49	992	507	485	856	422	434	865	421	444	819	407	412	820	399	421
50～54	994	506	488	1,006	504	502	863	428	435	869	425	444	813	412	401
55～59	927	442	485	1,004	510	494	989	494	495	853	421	432	851	412	439
60～64	928	454	474	966	466	500	1,017	510	507	970	479	491	847	420	427
生産年齢人口	7,651	3,796	3,855	7,559	3,765	3,794	7,126	3,556	3,570	6,640	3,323	3,317	6,119	3,082	3,037
65～69	873	415	458	916	438	478	944	452	492	1,002	504	498	960	477	483
70～74	937	445	492	813	387	426	857	403	454	887	412	475	964	469	495
75～79	696	298	398	853	392	461	738	335	403	806	370	436	820	375	445
80～84	405	138	267	565	231	334	720	301	419	648	278	370	675	297	378
85～89	262	84	178	287	83	204	425	156	269	550	209	341	484	188	296
90～	133	36	97	204	63	141	247	60	187	325	86	239	421	135	286
老年人口	3,306	1,416	1,890	3,638	1,594	2,044	3,931	1,707	2,224	4,218	1,859	2,359	4,324	1,941	2,383
再掲75歳以上	1,496	556	940	1,909	769	1,140	2,130	852	1,278	2,329	943	1,386	2,400	995	1,405
年齢不詳	-	-	-	-	-	-	-	-	-	15	9	6	4	2	2
総計	14,070	6,786	7,284	14,117	6,818	7,299	13,676	6,566	7,110	15,496	7,274	8,222	14,930	7,064	7,866

年齢3区分別人口構成比の推移(行政区)

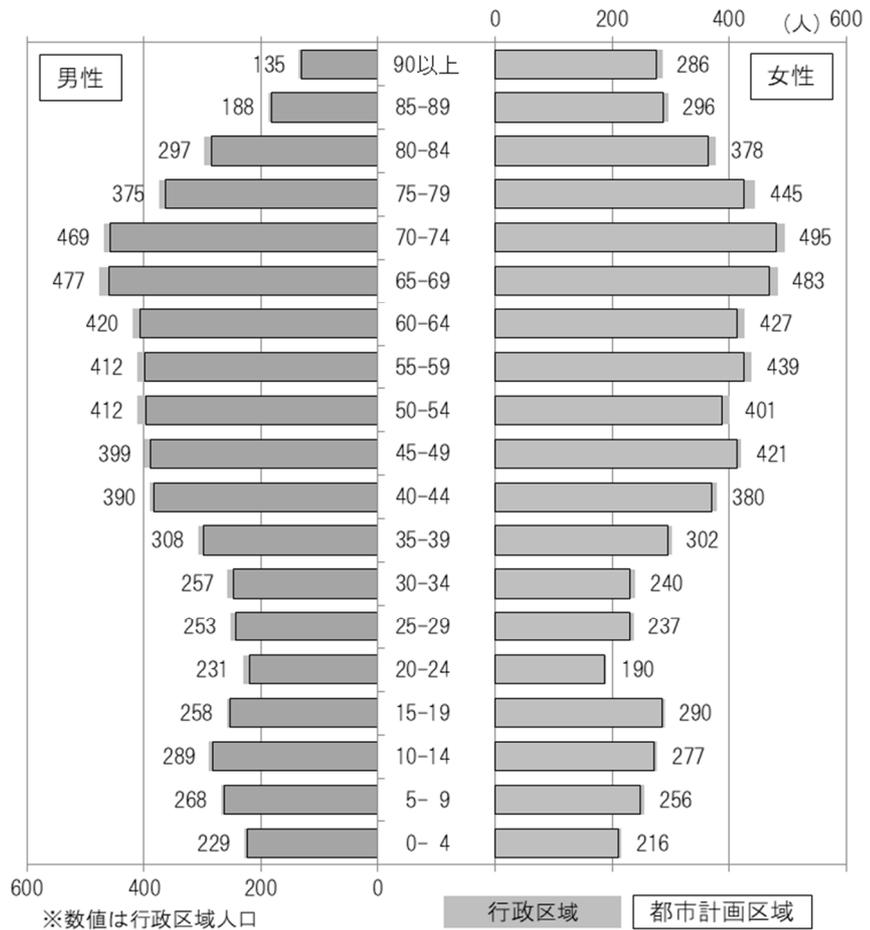


5歳階級別年齢・性別人口

平成12年



令和2年



## C0103 将来人口

国立社会保障・人口問題研究所による松川町の推計人口では減少が続き、令和32年(2050年)には8,722人になると推計されている。年齢3区分別人口をみても、令和2年(2022年)から令和32年(2050年)の増減は、年少人口が714人減(46.5%減)、生産年齢人口が2,690人減(40.3%減)、老年人口が400人減(9.3%減)となり、どの区分でも減少すると推計されている。

表1-3 5歳階級別人口推計

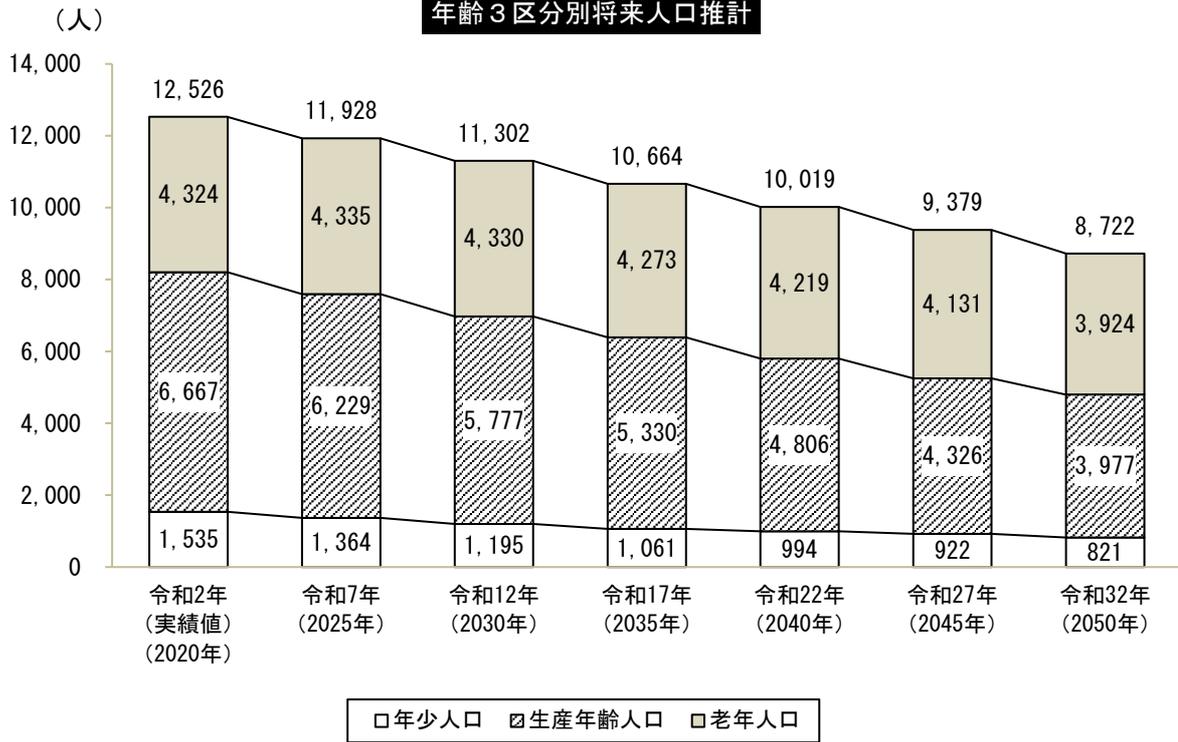
(令和2年国勢調査、日本の地域別将来推計人口(国立社会保障・人口問題研究所、令和6年推計))

	令和2年(実績値) (2020年)			令和7年 (2025年)			令和12年 (2030年)			令和17年 (2035年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	445	229	216	353	181	172	330	169	161	316	162	154
5～9	524	268	256	473	247	226	379	198	181	354	185	169
10～14	566	289	277	538	275	263	486	254	232	391	204	187
15～19	548	258	290	469	232	237	446	221	225	403	204	199
20～24	421	231	190	373	183	190	318	164	154	302	156	146
25～29	490	253	237	487	274	213	428	217	211	366	195	171
30～34	497	257	240	509	262	247	508	284	224	445	224	221
35～39	610	308	302	509	261	248	522	267	255	521	289	232
40～44	770	390	380	628	311	317	524	264	260	540	271	269
45～49	820	399	421	774	389	385	634	312	322	530	265	265
50～54	813	412	401	827	407	420	780	396	384	639	317	322
55～59	851	412	439	805	408	397	817	402	415	771	391	380
60～64	847	420	427	848	410	438	800	404	396	813	398	415
65～69	960	477	483	837	413	424	840	403	437	795	399	396
70～74	964	469	495	913	443	470	796	384	412	803	377	426
75～79	820	375	445	900	426	474	851	401	450	746	350	396
80～84	675	297	378	712	312	400	797	364	433	757	344	413
85～89	484	188	296	519	206	313	565	227	338	643	271	372
90歳以上	421	135	286	454	140	314	481	147	334	529	164	365
総計	12,526	6,067	6,459	11,928	5,780	6,148	11,302	5,478	5,824	10,664	5,166	5,498

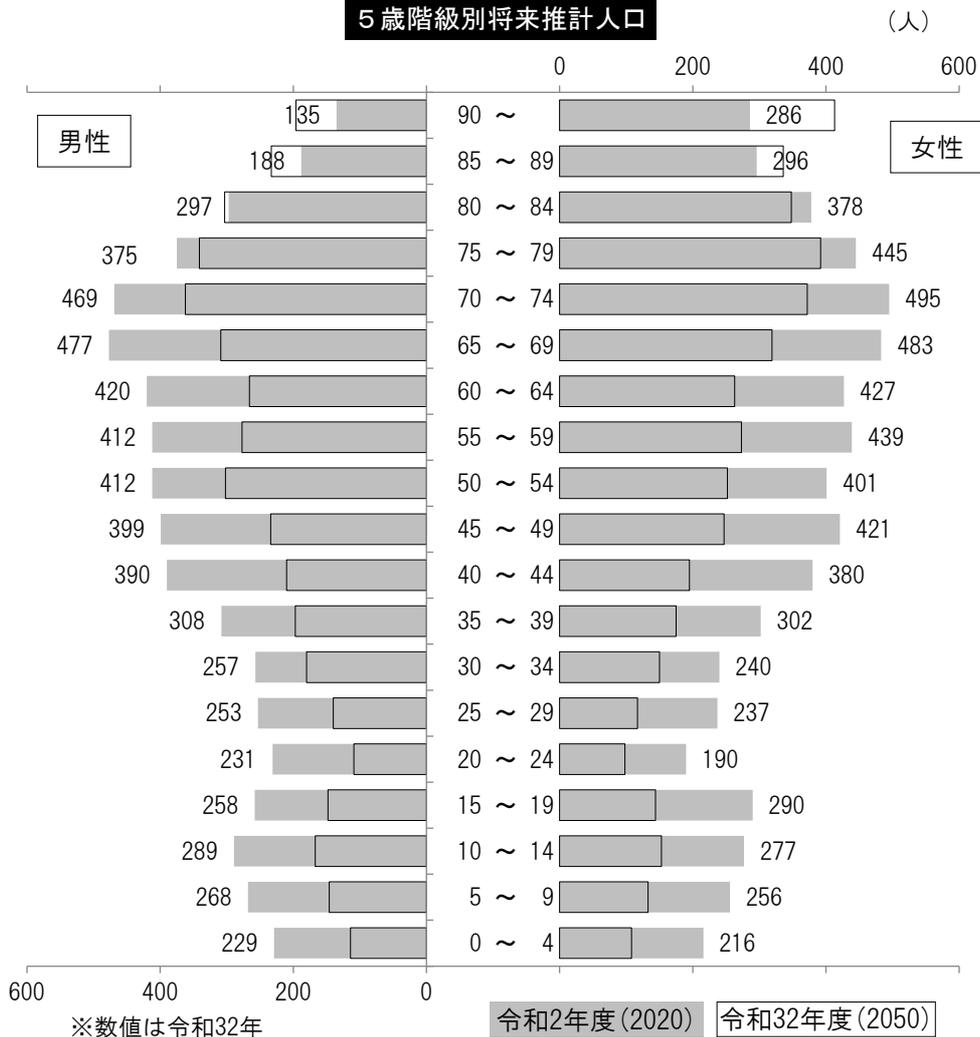
	令和22年 (2040年)			令和27年 (2045年)			令和32年 (2050年)		
	総数	男	女	総数	男	女	総数	男	女
0～4	287	147	140	258	132	126	222	114	108
5～9	341	178	163	310	162	148	279	146	133
10～14	366	191	175	354	185	169	320	167	153
15～19	324	164	160	303	153	150	292	148	144
20～24	273	144	129	220	116	104	207	109	98
25～29	348	186	162	316	173	143	257	140	117
30～34	380	202	178	362	193	169	330	180	150
35～39	457	228	229	391	206	185	372	197	175
40～44	540	294	246	474	232	242	405	210	195
45～49	548	273	275	547	296	251	481	234	247
50～54	534	270	264	553	278	275	554	302	252
55～59	633	314	319	529	267	262	550	277	273
60～64	769	389	380	631	312	319	529	266	263
65～69	808	393	415	764	384	380	628	309	319
70～74	762	375	387	776	370	406	734	362	372
75～79	755	345	410	719	345	374	733	341	392
80～84	669	303	366	682	301	381	651	303	348
85～89	613	257	356	551	231	320	569	233	336
90歳以上	612	199	413	639	207	432	609	196	413
総計	10,019	4,852	5,167	9,379	4,543	4,836	8,722	4,234	4,488

※令和2年の数値は年齢不詳を除いた実績値。

### 年齢3区分別将来人口推計



### 5歳階級別将来推計人口



C0104 人口増減の内訳

行政区域の平成8年から令和5年までの期間における人口増減数は、414人減となっている。

自然動態については、平成12以前より出生数が死亡者数を下回っており、自然減の幅が年々大きくなる傾向が見られる。

一方、社会動態については、平成13年までは転入者が転出者を上回っていることから概ね社会増となっているが、平成14年以降はほとんどの年が社会減となっている。

増減の推移を累計値でみると、平成16年に572人まで上昇していたが、それ以降は減少が続いている。

表1-4 人口動態推移（行政区域・都市計画区域）

（松川町調査（基準日：令和6年3月31日））

単位：人

年		H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	
行政区域	出生数	131	122	119	123	122	137	121	140	113	116	109	86	110	92	
	死亡者数	129	149	123	135	141	144	142	135	135	146	154	169	160	141	
	自然増	2	△27	△4	△12	△19	△7	△21	5	△22	△30	△45	△83	△50	△49	
	転入者数	526	690	526	561	566	564	480	495	480	477	476	447	456	365	
	転出者数	462	535	520	474	445	478	510	552	460	550	507	484	483	406	
	社会増	64	155	6	87	121	86	△30	△57	20	△73	△31	△37	△27	△41	
	その他の異動	17	47	15	12	6	7	4	77	40	24	△1	16	3	4	
	人口増加数	83	175	17	87	108	86	△47	25	38	△79	△77	△104	△74	△86	
	累計	83	258	275	362	470	556	509	534	572	493	416	312	238	152	
	年		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
	行政区域	出生数	111	83	87	93	93	98	99	90	90	73	81	60	90	78
		死亡者数	162	166	159	153	173	179	178	188	175	152	173	174	166	185
		自然増	△51	△83	△72	△60	△80	△81	△79	△98	△85	△79	△92	△114	△76	△107
		転入者数	353	388	362	344	399	403	371	356	338	320	279	369	362	396
		転出者数	350	394	400	410	382	450	394	414	387	345	388	375	394	371
社会増		3	△6	△38	△66	17	△47	△23	△58	△49	△25	△109	△6	△32	25	
その他の異動		6	9	△19	18	4	9	2	7	7	2	13	7	△1	△2	
人口増加数		△42	△80	△129	△108	△59	△119	△100	△149	△127	△102	△188	△113	△109	△84	
累計		110	30	△99	△207	△266	△385	△485	△634	△761	△863	△1,051	△1,164	△1,273	△1,357	
年		H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	
都市計画区域		出生数	124	116	113	117	116	130	115	133	107	111	104	82	105	88
		死亡者数	122	141	117	128	134	137	135	128	128	139	147	161	153	135
		自然増	2	△25	△4	△11	△18	△7	△20	5	△21	△28	△43	△79	△48	△47
		転入者数	499	655	499	533	538	536	456	471	456	456	455	427	435	349
		転出者数	439	508	494	450	423	455	485	525	437	525	484	462	461	388
	社会増	60	147	5	83	115	81	△29	△54	19	△69	△29	△35	△26	△39	
	その他の異動	16	45	14	11	6	7	4	73	38	23	△1	15	3	4	
	人口増加数	78	167	15	83	103	81	△45	24	36	△74	△73	△99	△71	△82	
	累計	78	245	260	343	446	527	482	506	542	468	395	296	225	143	
	年		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
	都市計画区域	出生数	106	79	83	89	90	95	96	87	87	71	79	58	87	76
		死亡者数	155	159	152	146	167	173	172	182	169	147	168	169	161	180
		自然増	△49	△80	△69	△57	△77	△78	△76	△95	△82	△76	△89	△111	△74	△104
		転入者数	337	371	346	329	385	389	358	344	327	310	271	358	351	384
		転出者数	334	376	382	392	369	435	381	400	374	335	376	364	382	360
社会増		3	△5	△36	△63	16	△46	△23	△56	△47	△25	△105	△6	△31	24	
その他の異動		6	9	△18	17	4	9	2	7	7	2	13	7	△1	△2	
人口増加数		△40	△76	△123	△103	△57	△115	△97	△144	△122	△99	△181	△110	△106	△82	
累計		103	27	△96	△199	△256	△371	△468	△612	△734	△833	△1,014	△1,124	△1,230	△1,312	

注1）都市計画区域人口の数値は、行政区域に占める人口（国勢調査による）の割合により按分した数値

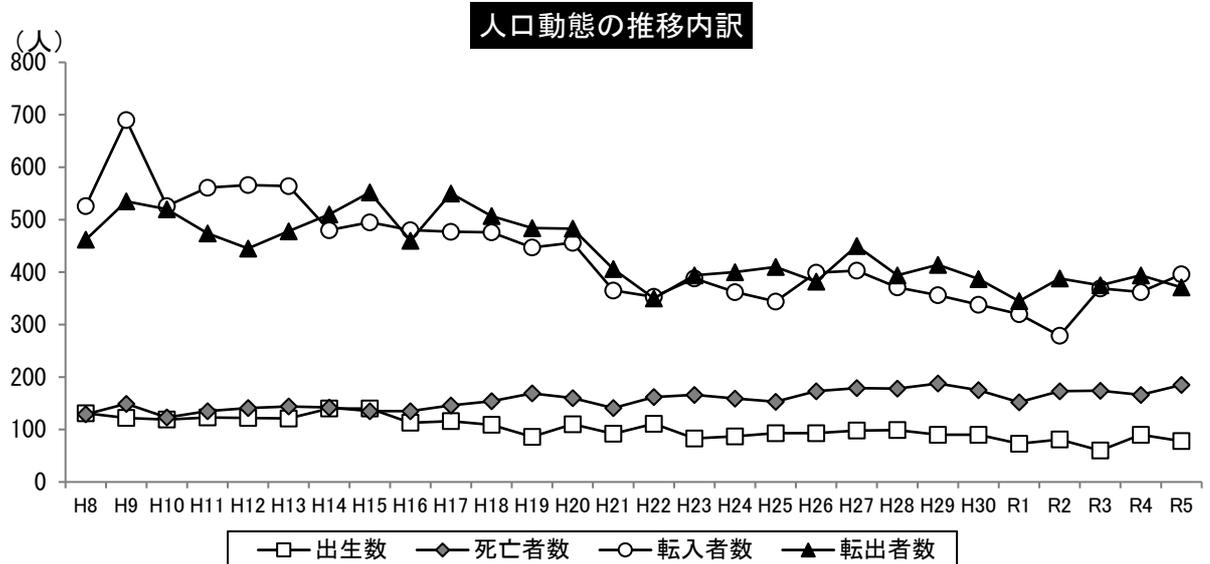
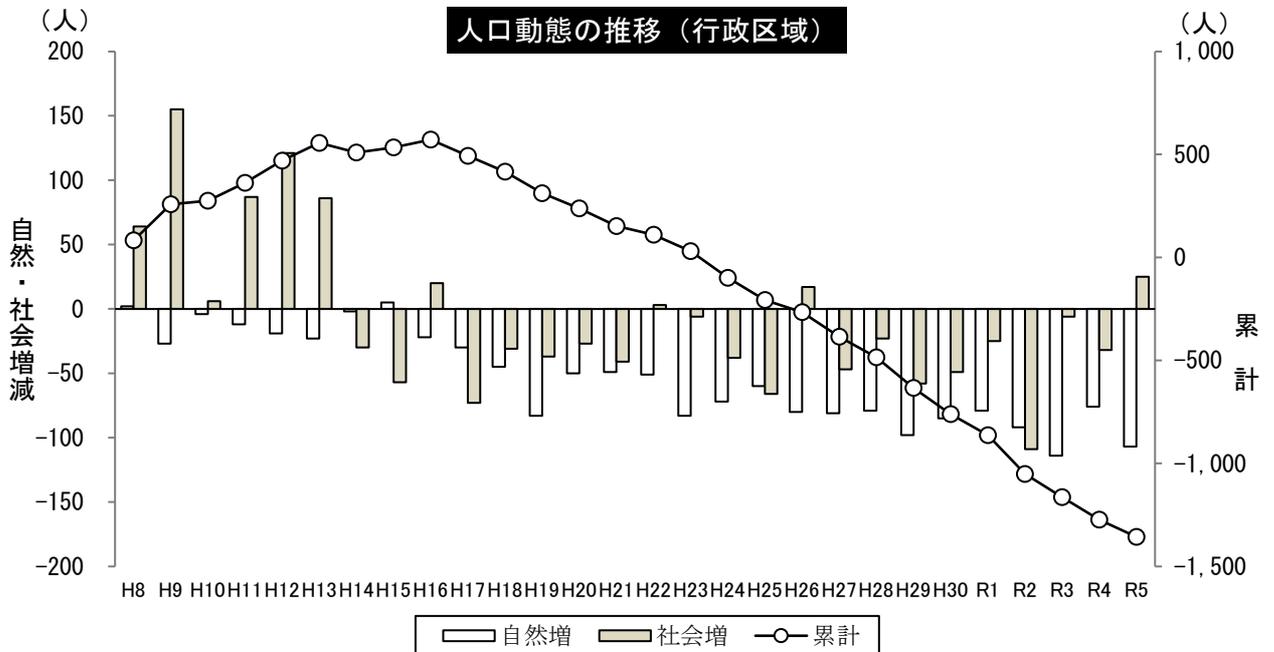
注2）平成25年までは、4月から翌年の3月までの年度単位で集計した数値

表1-5 人口動態推移（用途地域指定区域）

（松川町調査（基準日：令和6年3月31日））  
単位：人

年		H8年	H9年	H10年	H11年	H12年	H13年	H14年	H15年	H16年	H17年	H18年	H19年	H20年	H21年	
用途地域指定区域	出生数	38	36	35	36	37	41	36	42	34	35	33	26	33	28	
	死亡者数	38	43	36	39	43	43	43	41	41	44	46	51	48	42	
	自然増	0	△7	△1	△3	△6	△2	△7	1	△7	△9	△13	△25	△15	△14	
	転入者数	153	201	153	164	171	170	145	149	145	144	143	135	137	110	
	転出者数	135	156	152	138	134	144	154	166	139	166	153	146	145	122	
	社会増	18	45	1	26	37	26	△9	△17	6	△22	△10	△11	△8	△12	
	その他の異動	5	14	4	3	2	2	1	23	12	7	0	5	1	1	
	人口増加数	23	52	4	26	33	26	△15	7	11	△24	△23	△31	△22	△25	
	累計	23	75	79	105	138	164	149	156	167	143	120	89	67	42	
	年		H22年	H23年	H24年	H25年	H26年	H27年	H28年	H29年	H30年	R1年	R2年	R3年	R4年	R5年
	用途地域指定区域	出生数	33	25	26	28	28	29	30	27	27	22	25	18	27	24
		死亡者数	49	50	48	46	52	54	53	56	52	46	53	53	51	56
		自然増	△16	△25	△22	△18	△24	△25	△23	△29	△25	△24	△28	△35	△24	△32
		転入者数	106	116	108	103	119	121	111	107	101	98	85	112	110	121
		転出者数	105	118	120	123	114	135	118	124	116	105	118	114	120	113
社会増		1	△2	△12	△20	5	△14	△7	△17	△15	△7	△33	△2	△10	8	
その他の異動		2	3	△6	5	1	3	1	2	2	1	4	2	0	△1	
人口増加数		△13	△24	△40	△33	△18	△36	△29	△44	△38	△30	△57	△35	△34	△25	
累計		29	5	△35	△68	△86	△122	△151	△195	△233	△263	△320	△355	△389	△414	

注1) 用途地域指定区域人口の数値は、行政区に占める人口（国勢調査による）の割合により按分した数値  
注2) 平成25年までは、4月から翌年の3月までの年度単位で集計した数値



## C0105 通勤・通学移動

平成 12 年から令和 2 年までの就業者による流出・流入人口をみると、常住地及び従業地による就業・通学者数はともに平成 12 年より減少に転じている。令和 2 年の常住地による就業・通学者数は 7,768 人、従業地による就業・通学者数は 7,140 人となっており、平成 12 年と比較すると、ともに 1,000 人以上の減少が見られる。

平成 12 年から令和 2 年までの流出先を市町村別に見ると、第 1 位から飯田市、高森町、駒ヶ根市、飯島町、中川村となっており、令和 5 年の第 5 位豊丘村を除き順位の変化はほぼない。流入先についても、飯田市、高森町、豊丘村、中川村、飯島町となっており、順位についてもほぼ変化は無い。

また、流出者数は徐々に増加傾向がみられ、流入者数についても同様な傾向がみられる。

表 1-6 流出・流入別人口推移

(平成 12, 17, 22, 27, 令和 2 年国勢調査 常住地・従業地における就業者・通学者数)

年	常住地による 就業・通学者数 人	流 出		従業地による 就業・通学者数 人	流 入		従/常 就業・通学者比率 %
		就業・通学者数 人	流出率 %		就業・通学者数 人	流入率 %	
平成 12 年	8,890	3,193	35.9	8,170	2,473	30.3	91.9
平成 17 年	8,683	3,489	40.2	7,566	2,372	31.4	87.1
平成 22 年	8,078	3,478	43.1	7,155	2,492	34.8	88.6
平成 27 年	8,009	3,486	43.5	7,352	2,809	38.2	91.8
令和 2 年	7,768	3,560	45.8	7,140	2,893	40.5	91.9

表 1-7 市町村別流出・流入先人口推移

年	流 出 先								
	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流出者数 (人)	流出率 (%)	市町村名	流出者数 (人)	流出率 (%)	市町村名	流出者数 (人)	流出率 (%)
平成 12 年	飯 田 市	1,631	18.3	高 森 町	430	4.8	駒ヶ根市	243	2.7
平成 17 年	飯 田 市	1,719	19.8	高 森 町	503	5.8	駒ヶ根市	276	3.2
平成 22 年	飯 田 市	1,661	20.6	高 森 町	494	6.1	駒ヶ根市	275	3.4
平成 27 年	飯 田 市	1,622	20.3	高 森 町	468	5.8	駒ヶ根市	285	3.6
令和 2 年	飯 田 市	1,566	20.2	高 森 町	487	6.3	駒ヶ根市	312	4.0

年	流 出 先					
	第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流出者数 (人)	流出率 (%)	市町村名	流出者数 (人)	流出率 (%)
平成 12 年	飯 島 町	207	2.3	中 川 村	172	1.9
平成 17 年	飯 島 町	236	2.7	中 川 村	195	2.2
平成 22 年	飯 島 町	218	2.7	中 川 村	186	2.3
平成 27 年	飯 島 町	228	2.8	中 川 村	191	2.4
令和 2 年	飯 島 町	240	3.1	豊 丘 村	204	2.6

年	流 入 先								
	第 1 位			第 2 位			第 3 位		
	市町村名	流入者数 (人)	流入率 (%)	市町村名	流入者数 (人)	流入率 (%)	市町村名	流入者数 (人)	流入率 (%)
平成 12 年	飯 田 市	822	10.1	高 森 町	463	5.7	中 川 村	295	3.6
平成 17 年	飯 田 市	852	11.3	高 森 町	479	6.3	豊 丘 村	239	3.2
平成 22 年	飯 田 市	856	12.0	高 森 町	490	6.8	豊 丘 村	284	4.0
平成 27 年	飯 田 市	939	12.8	高 森 町	581	7.9	豊 丘 村	328	4.5
令和 2 年	飯 田 市	967	13.5	高 森 町	645	9.0	豊 丘 村	326	4.6

年	流 入 先					
	第 4 位			第 5 位		
	市町村名	流入者数 (人)	流入率 (%)	市町村名	流入者数 (人)	流入率 (%)
平成 12 年	豊 丘 村	269	3.3	飯 島 町	213	2.6
平成 17 年	中 川 村	237	3.1	飯 島 町	204	2.7
平成 22 年	中 川 村	249	3.5	飯 島 町	219	3.1
平成 27 年	中 川 村	272	3.7	飯 島 町	208	2.8
令和 2 年	中 川 村	258	3.6	飯 島 町	201	2.8

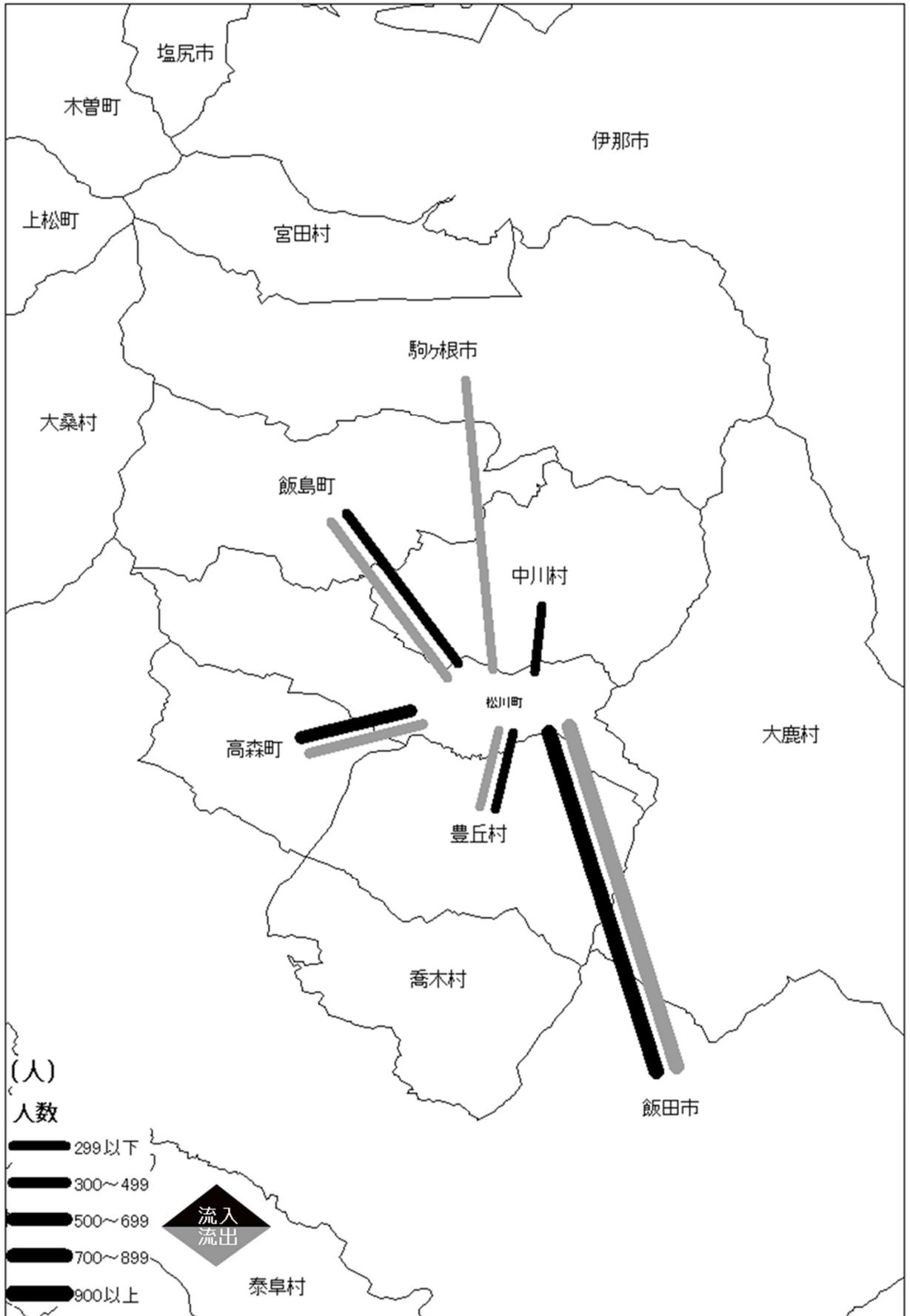
注 1) 常住地による就業・通学者数とは、当該都市に常住する(夜間人口ベース)就業・通学者を言う  
 従業・通学地による就業・通学者数とは、当該都市に従業・通学する(昼間人口ベース)就業・通学者を言う

注 2) 流出率=流出就業・通学者数/常住地による就業・通学者数×100  
 流入率=流入就業・通学者数/従業・通学地による就業・通学者数×100

注 3) (従/常)就業・通学者比率=従業・通学地による就業・通学者数/常住地による就業・通学者数×100

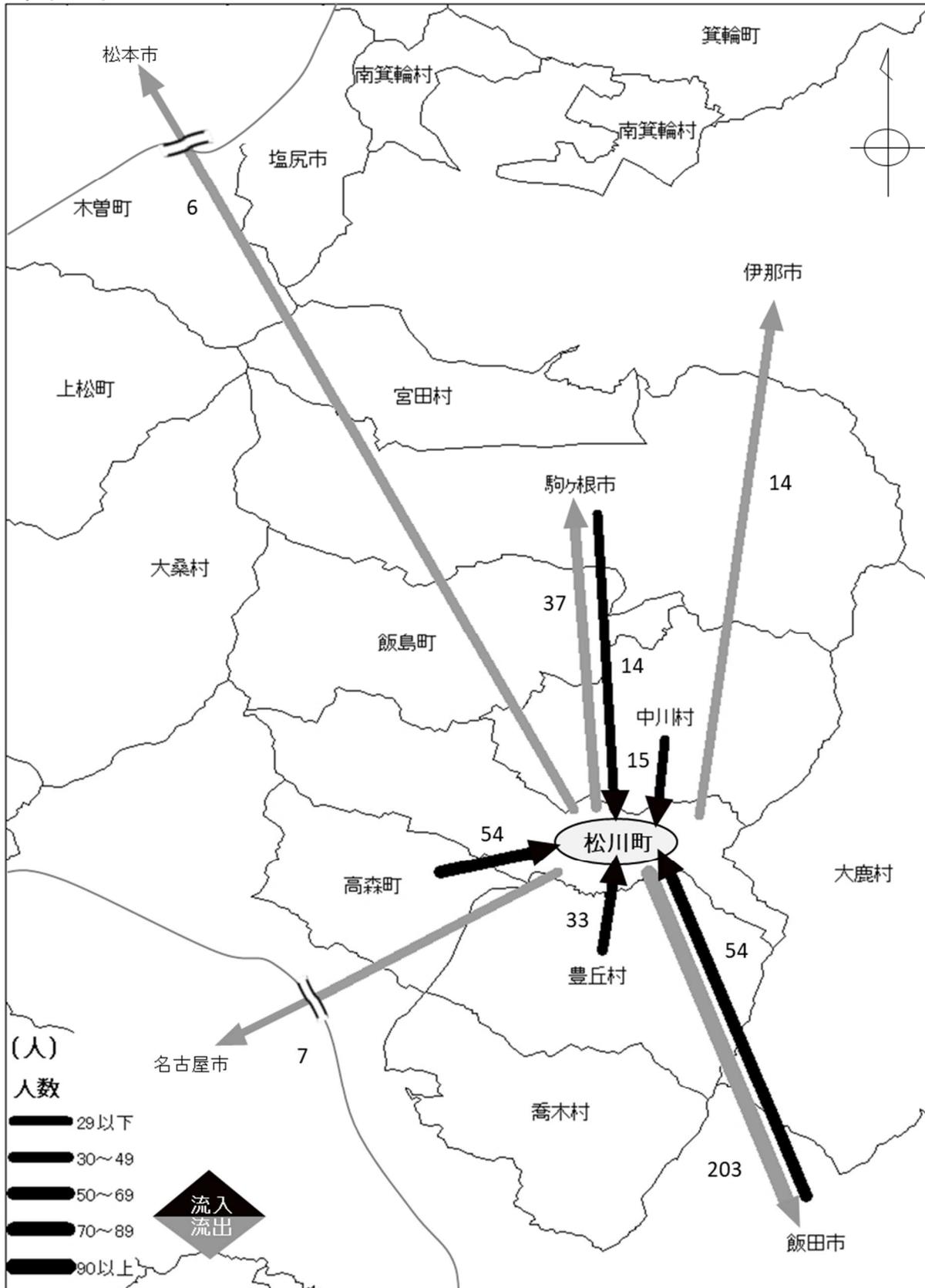
令和2年

就業者流出・流入人口



通学者流出・流入人口

令和2年



## ② 産 業

### C0201 産業・職業大分類別就業者数

#### C0201-1 産業大分類別就業者数

令和2年における常住地による産業大分類別就業者数は、農業、林業が23.3%、製造業が22.7%であり、第一次産業と第二次産業が上位に付いているが、産業三区分別で見ると、第三次産業人口が47.8%を占めている。

平成12年から令和2年までの推移は、平成12年の8,279人から減少傾向が続いている。産業三区分別就業者数を見ると、第一次産業人口は減少傾向、第二次産業人口は平成17年以降に減少しその後ほぼ横ばいに推移し、第三次産業人口は増加傾向にある。

従業地による産業人口及び産業大分類別就業者数の推移についても、常住地と同様の変化が見られる。

表2-1 産業大分類別就業者数推移（常住地）

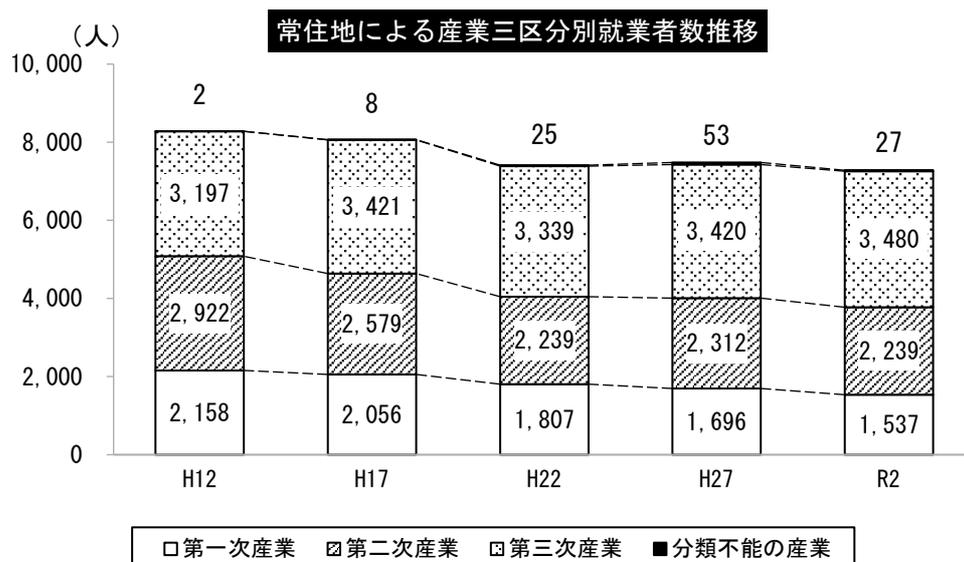
産 業 大 分 類	平成12年	
	常住地による就業者数	
	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業	2,130	25.7
B. 林業	28	0.3
C. 漁業	-	-
第一次産業合計	2,158	26.1
D. 鉱業	36	0.4
E. 建設業	906	10.9
F. 製造業	1,980	23.9
第二次産業合計	2,922	35.3
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	40	0.5
H. 運輸・通信業	245	3.0
I. 卸売・小売業、飲食店	1,169	14.1
J. 金融・保険業	80	1.0
K. 不動産業	2	0.0
L. サービス業	1,506	18.2
M. 公務（他に分類されないもの）	155	1.9
第三次産業合計	3,197	38.6
N. 分類不能の産業	2	0.0
合 計	8,279	100.0

産 業 大 分 類	平成17年	
	常住地による就業者数	
	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業	2,051	25.4
B. 林業	5	0.1
C. 漁業	-	-
第一次産業合計	2,056	25.5
D. 鉱業	17	0.2
E. 建設業	761	9.4
F. 製造業	1,801	22.3
第二次産業合計	2,579	32.0
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	37	0.5
H. 情報通信業	46	0.6
I. 運輸・通信業	215	2.7
J. 卸売・小売業	972	12.1
K. 金融・保険業	75	0.9
L. 不動産業	9	0.1
M. 飲食店、宿泊業	233	2.9
N. 医療、福祉	626	7.8
O. 教育、学習支援業	276	3.4
P. 複合サービス事業	177	2.2
Q. サービス業（他に分類されないもの）	593	7.4
R. 公務（他に分類されないもの）	162	2.0
第三次産業合計	3,421	42.4
S. 分類不能	8	0.1
合 計	8,064	100.0

(平成12年, 17年, 22年, 27年, 令和2年国勢調査 産業(大分類), 常住地又は従業地・通学地別就業者数)

産業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	常住地による就業者数		常住地による就業者数		常住地による就業者数	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業、林業	1,807	24.4	1,695	22.7	1,537	21.1
B. 漁業	-	-	1	0.0	-	-
第一次産業合計	1,807	24.4	1,696	22.7	1,537	21.1
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	25	0.3	11	0.1	11	0.2
D. 建設業	596	8.0	607	8.1	577	7.9
E. 製造業	1,618	21.8	1,694	22.6	1,651	22.7
第二次産業合計	2,239	30.2	2,312	30.9	2,239	30.7
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	40	0.5	33	0.4	40	0.5
G. 情報通信業	29	0.4	35	0.5	33	0.5
H. 運輸業、郵便業	223	3.0	227	3.0	251	3.4
I. 卸売業、小売業	956	12.9	848	11.3	836	11.5
J. 金融業、保険業	84	1.1	97	1.3	95	1.3
K. 不動産業、物品賃貸業	25	0.3	35	0.5	41	0.6
L. 学術研究、専門・技術サービス業	121	1.6	122	1.6	132	1.8
M. 宿泊業、飲食サービス業	270	3.6	249	3.3	244	3.4
N. 生活関連サービス業、娯楽業	187	2.5	202	2.7	169	2.3
O. 教育、学習支援業	253	3.4	230	3.1	232	3.2
P. 医療、福祉	695	9.4	822	11.0	891	12.2
Q. 複合サービス事業	77	1.0	87	1.2	89	1.2
R. サービス業(他に分類されないもの)	226	3.0	264	3.5	257	3.5
S. 公務(他に分類されるものを除く)	153	2.1	169	2.3	170	2.3
第三次産業合計	3,339	45.1	3,420	45.7	3,480	47.8
T. 分類不能の産業	25	0.3	53	0.7	27	0.4
合計	7,410	100.0	7,481	100.0	7,283	100.0

注1) 平成22年以降の産業大分類の項目名・定義は平成19年の日本標準産業分類の改訂後のものを適用しているため、平成17年以前のものとは合致しない  
 注2) 「-」は該当数値なし



常住地による産業三区分別就業者構成比

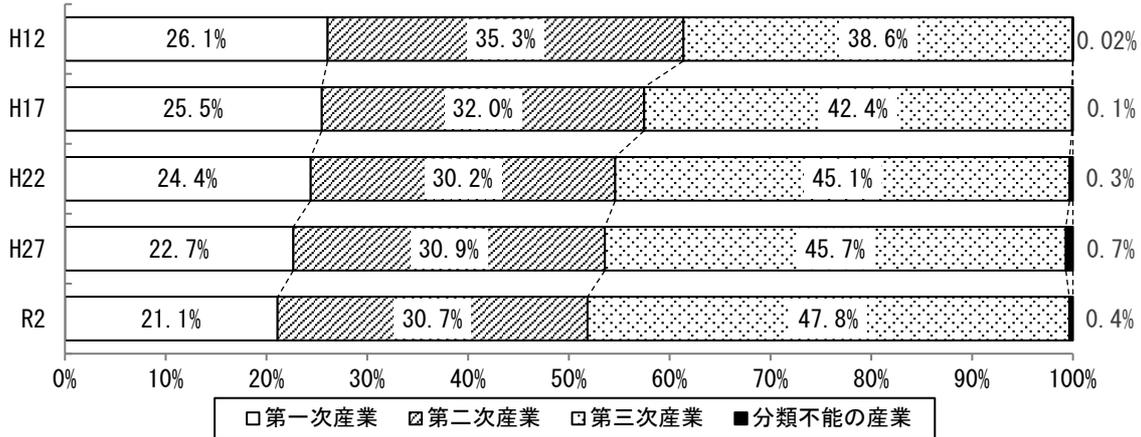


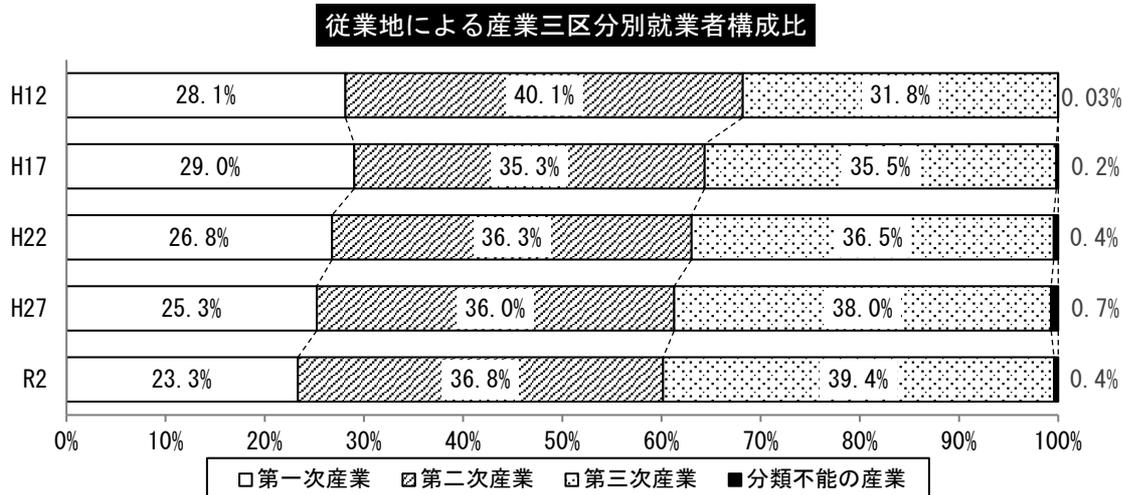
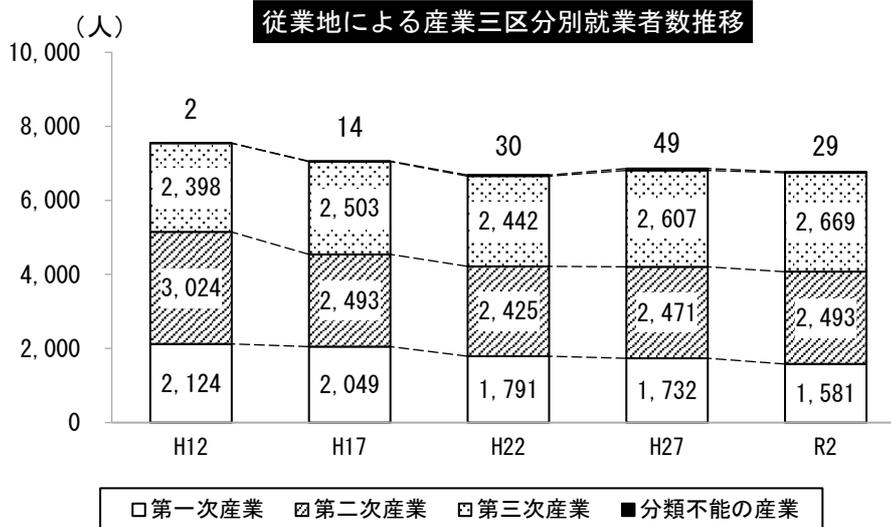
表 2 - 1 産業大分類別就業者数推移 (従業地)

産業大分類	平成12年	
	従業地による就業者数	
	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業	2,109	27.9
B. 林業	15	0.2
C. 漁業	-	-
第一次産業合計	2,124	28.1
D. 鉱業	6	0.1
E. 建設業	823	10.9
F. 製造業	2,195	29.1
第二次産業合計	3,024	40.1
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	22	0.3
H. 運輸・通信業	203	2.7
I. 卸売・小売業, 飲食店	858	11.4
J. 金融・保険業	51	0.7
K. 不動産業	1	0.0
L. サービス業	1,174	15.6
M. 公務 (他に分類されないもの)	89	1.2
第三次産業合計	2,398	31.8
N. 分類不能の産業	2	0.0
合計	7,548	100.0

産業大分類	平成17年	
	従業地による就業者数	
	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業	2,047	29.0
B. 林業	2	0.0
C. 漁業	-	-
第一次産業合計	2,049	29.0
D. 鉱業	2	0.0
E. 建設業	628	8.9
F. 製造業	1,863	26.4
第二次産業合計	2,493	35.3
G. 電気・ガス・熱供給・水道業	14	0.2
H. 情報通信業	24	0.3
I. 運輸・通信業	185	2.6
J. 卸売・小売業	680	9.6
K. 金融・保険業	50	0.7
L. 不動産業	4	0.1
M. 飲食店, 宿泊業	180	2.5
N. 医療, 福祉	553	7.8
O. 教育, 学習支援業	217	3.1
P. 複合サービス事業	136	1.9
Q. サービス業 (他に分類されないもの)	369	5.2
R. 公務 (他に分類されないもの)	91	1.3
第三次産業合計	2,503	35.5
S. 分類不能	14	0.2
合計	7,059	100.0

(平成12年, 17年, 22年, 27年, 令和2年国勢調査 産業(大分類), 常住地又は従業地・通学地別就業者数)

産業大分類	平成22年		平成27年		令和2年	
	従業地による就業者数		従業地による就業者数		従業地による就業者数	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 農業、林業	1,791	26.8	1,732	25.3	1,581	23.3
B. 漁業	-	-	-	-	-	-
第一次産業合計	1,791	26.8	1,732	25.3	1,581	23.3
C. 鉱業、採石業、砂利採取業	2	0.0	1	0.0	-	-
D. 建設業	518	7.7	499	7.3	488	7.2
E. 製造業	1,905	28.5	1,971	28.7	2,005	29.6
第二次産業合計	2,425	36.3	2,471	36.0	2,493	36.8
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	16	0.2	8	0.1	15	0.2
G. 情報通信業	18	0.3	24	0.3	24	0.4
H. 運輸業、郵便業	189	2.8	197	2.9	234	3.5
I. 卸売業、小売業	622	9.3	585	8.5	584	8.6
J. 金融業、保険業	53	0.8	49	0.7	44	0.6
K. 不動産業、物品賃貸業	14	0.2	28	0.4	28	0.4
L. 学術研究、専門・技術サービス業	57	0.9	57	0.8	51	0.8
M. 宿泊業、飲食サービス業	178	2.7	185	2.7	177	2.6
N. 生活関連サービス業、娯楽業	125	1.9	144	2.1	114	1.7
O. 教育、学習支援業	206	3.1	194	2.8	191	2.8
P. 医療、福祉	640	9.6	733	10.7	784	11.6
Q. 複合サービス事業	70	1.0	82	1.2	81	1.2
R. サービス業(他に分類されないもの)	155	2.3	195	2.8	202	3.0
S. 公務(他に分類されるものを除く)	99	1.5	126	1.8	140	2.1
第三次産業合計	2,442	36.5	2,607	38.0	2,669	39.4
T. 分類不能の産業	30	0.4	49	0.7	29	0.4
合計	6,688	100.0	6,859	100.0	6,772	100.0



### 産業三区分別就業者数推計

常住地による産業三区分別就業者数の推計によると、推計方式により数値に幅はあるものの第一次産業及び第二次産業就業者数は減少傾向、第三次就業者数は増加傾向にあることが推測される。1次式によると、20年後の令和22年（2040年）には、令和2年と比較して第一次産業就業者数は647人減（42.1%減）第二次産業就業者数は741人減（33.1%減）、第三次産業就業者数は221人増（6.4%増）という結果であった。

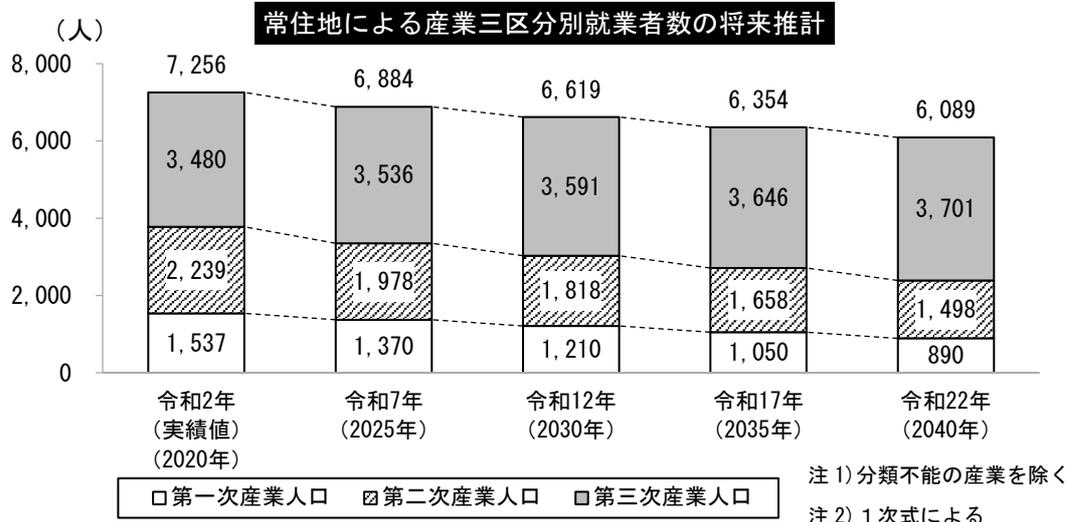
産業三区分別構成比をみると、令和2年の実績値では第一次就業者数は21.2%、第二次産業就業者数は30.9%、第三次就業者数は48.0%であるが、1次式による令和22年の推計値は、順に14.6%、24.6%、60.8%となることが推測される。

表2-3 常住地による産業三区分別人口推計

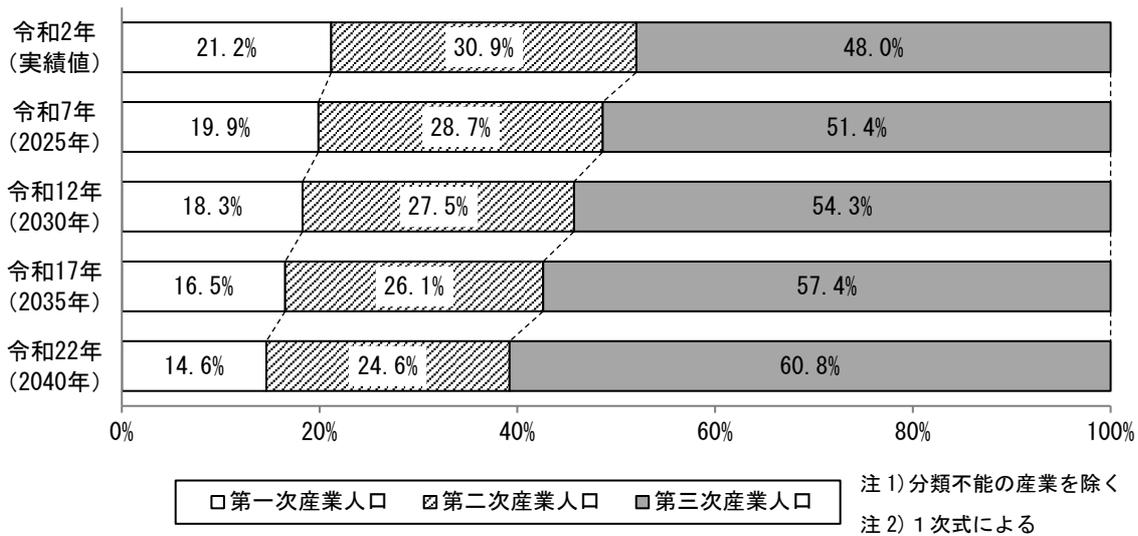
（平成12年、17年、22年、27年、令和2年国勢調査 産業（大分類），常住地又は従業地・通学地別就業者数）

単位：人

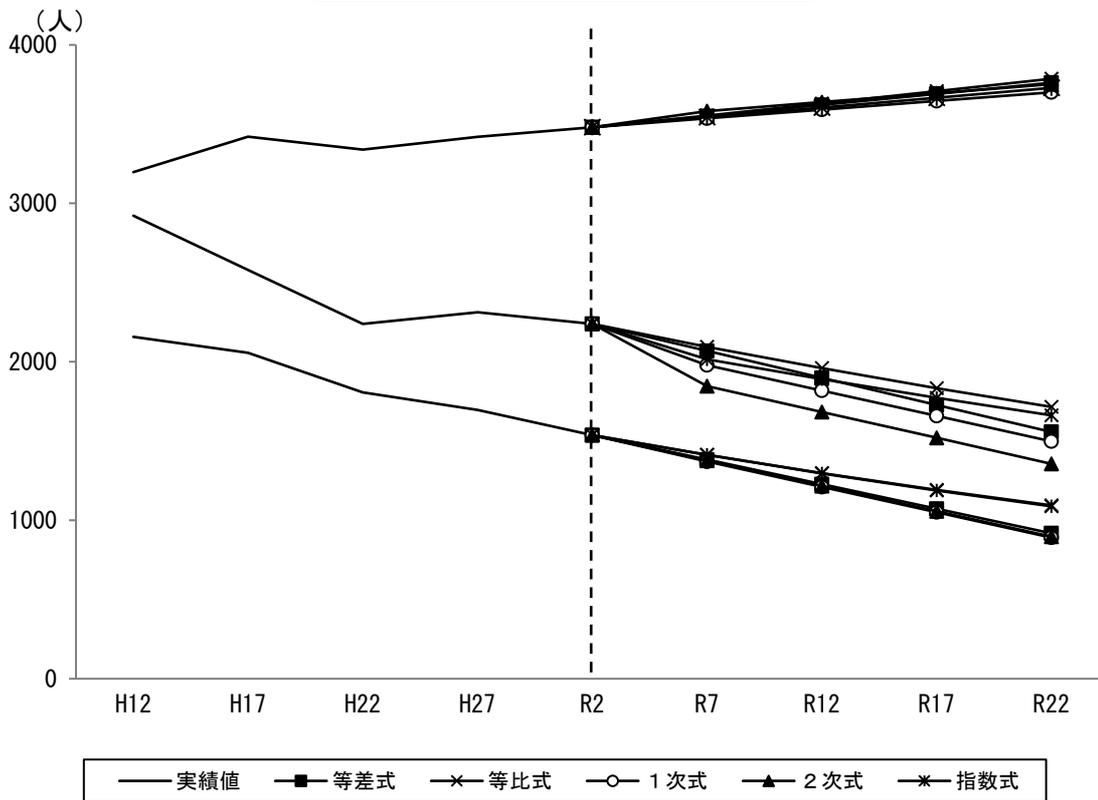
第一次産業 就業者数		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年 (基準年次)	令和7年	令和12年 (10年後)	令和17年	令和22年 (20年後)
実績値		2,158	2,056	1,807	1,696	1,537				
推 計 値	等差式						1,382	1,227	1,072	917
	等比式						1,412	1,297	1,191	1,094
	1次式						1,370	1,210	1,050	890
	2次式						1,376	1,216	1,056	896
	指数式						1,413	1,295	1,187	1,088
第二次産業 就業者数		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年 (基準年次)	令和7年	令和12年 (10年後)	令和17年	令和22年 (20年後)
実績値		2,922	2,579	2,239	2,312	2,239				
推 計 値	等差式						2,068	1,898	1,727	1,557
	等比式						2,094	1,960	1,833	1,715
	1次式						1,978	1,818	1,658	1,498
	2次式						1,846	1,683	1,520	1,356
	指数式						2,015	1,890	1,772	1,662
第三次産業 就業者数		平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	令和2年 (基準年次)	令和7年	令和12年 (10年後)	令和17年	令和22年 (20年後)
実績値		3,197	3,421	3,339	3,420	3,480				
推 計 値	等差式						3,550	3,621	3,691	3,762
	等比式						3,554	3,630	3,708	3,787
	1次式						3,536	3,591	3,646	3,701
	2次式						3,582	3,639	3,695	3,752
	指数式						3,544	3,604	3,666	3,729



常住地による産業三区分別就業者数の将来推計構成比



常住地による産業三区分別就業者数推計



## C0201-2 職業大分類別就業者数

令和2年の職業大分類別人口をみると、常住地による就業者数は7,283人であり、平成12年と比較すると996人減少している。平成12年から令和2年まで、常住地・従業地ともに、農林業従事者及び生産工程従事者が多くを占めているものの割合は減少傾向にあり、専門的・技術的職業や事務、サービス職業などへの分散が見られる。

表2-4 職業大分類別就業者数の推移

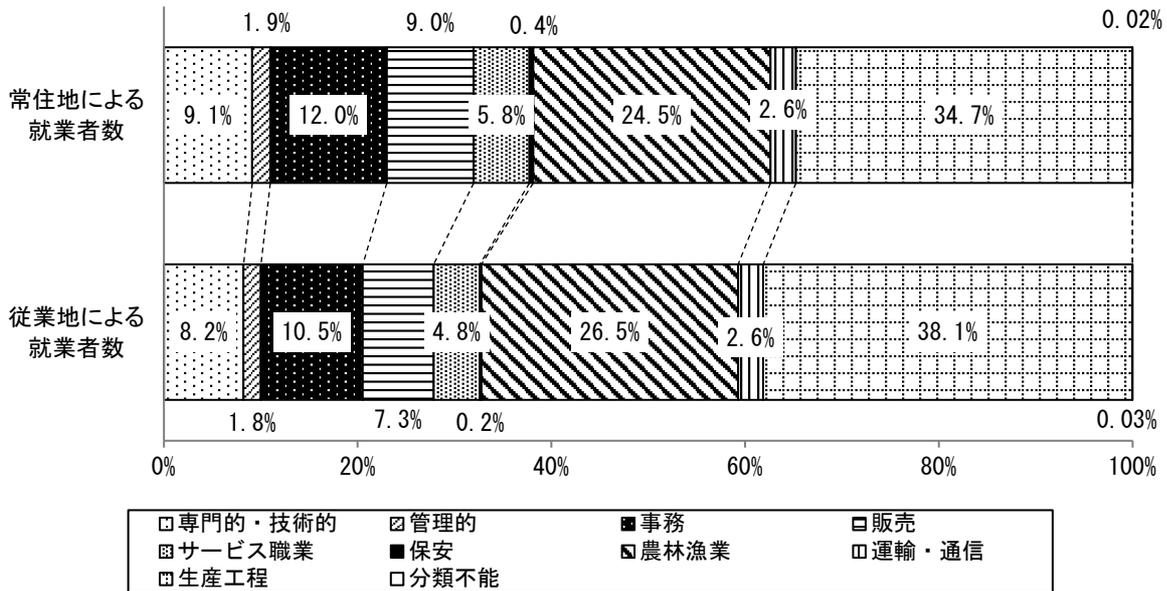
(平成12年, 17年, 22年, 27年, 令和2年国勢調査 職業(大分類), 常住地又は従業地・通学地別就業者数)

職業大分類	平成12年				平成17年			
	常住地による		従業地による		常住地による		従業地による	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 専門的・技術的職業従事者	755	9.1	621	8.2	771	9.6	604	8.6
B. 管理的職業従事者	155	1.9	135	1.8	125	1.6	103	1.5
C. 事務従事者	996	12.0	794	10.5	1,009	12.5	747	10.6
D. 販売従事者	742	9.0	552	7.3	761	9.4	543	7.7
E. サービス職業従事者	477	5.8	359	4.8	608	7.5	446	6.3
F. 保安職業従事者	32	0.4	14	0.2	38	0.5	14	0.2
G. 農林漁業従事者	2,028	24.5	2,000	26.5	1,963	24.3	1,932	27.4
H. 運輸・通信従事者	217	2.6	195	2.6	198	2.5	187	2.6
I. 生産工程・労務作業従事者	2,875	34.7	2,876	38.1	2,581	32.0	2,469	35.0
J. 分類不能の職業	2	0.02	2	0.0	10	0.1	14	0.2
合計	8,279	100.0	7,548	100.0	8,064	100.0	7,059	100.0

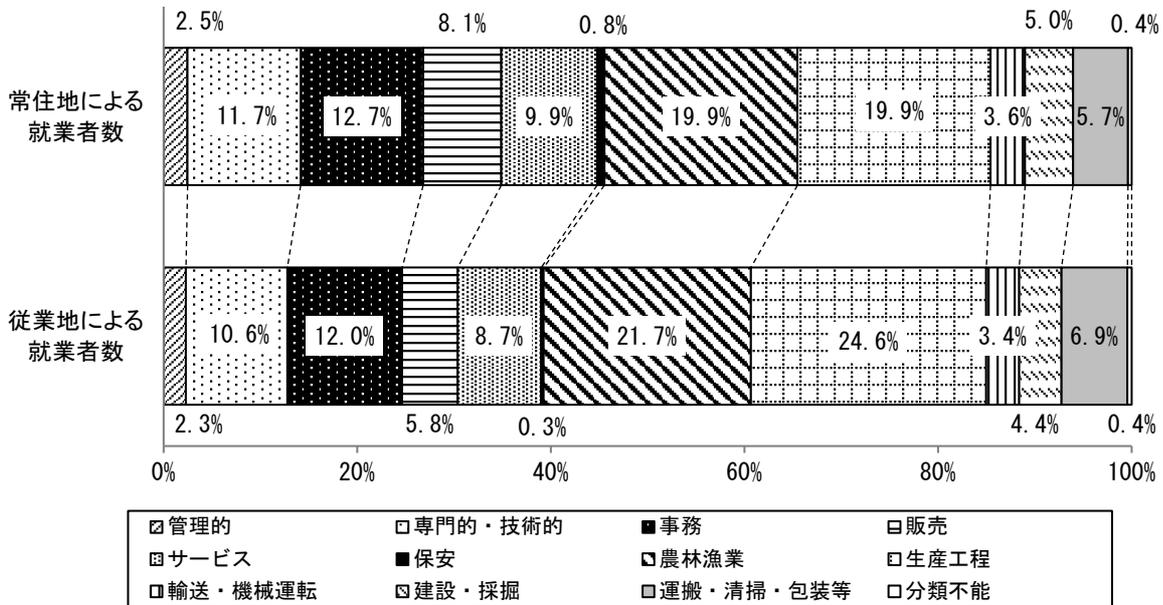
職業大分類	平成22年				平成27年			
	常住地による		従業地による		常住地による		従業地による	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 管理的職業従事者	152	2.1	129	1.9	158	2.1	154	2.2
B. 専門的・技術的職業従事者	744	10.0	621	9.3	815	10.9	671	9.8
C. 事務従事者	865	11.7	698	10.4	910	12.2	775	11.3
D. 販売従事者	732	9.9	485	7.3	657	8.8	450	6.6
E. サービス職業従事者	678	9.1	536	8.0	722	9.7	577	8.4
F. 保安職業従事者	40	0.5	14	0.2	44	0.6	14	0.2
G. 農林漁業従事者	1,728	23.3	1,702	25.4	1,603	21.4	1,578	23.0
H. 生産工程従事者	1,457	19.7	1,635	24.4	1,534	20.5	1,704	24.8
I. 輸送・機械運転従事者	207	2.8	190	2.8	211	2.8	201	2.9
J. 建設・採掘従事者	389	5.2	312	4.7	373	5.0	291	4.2
K. 運搬・清掃・包装等従事者	397	5.4	338	5.1	403	5.4	395	5.8
L. 分類不能の職業	21	0.3	28	0.4	51	0.7	49	0.7
合計	7,410	100.0	6,688	100.0	7,481	100.0	6,859	100.0

職業大分類	令和2年			
	常住地による		従業地による	
	就業者数 (人)	構成比 (%)	就業者数 (人)	構成比 (%)
A. 管理的職業従事者	180	2.5	156	2.3
B. 専門的・技術的職業従事者	851	11.7	710	10.6
C. 事務従事者	922	12.7	803	12.0
D. 販売従事者	588	8.1	388	5.8
E. サービス職業従事者	721	9.9	584	8.7
F. 保安職業従事者	55	0.8	17	0.3
G. 農林漁業従事者	1,452	19.9	1,450	21.7
H. 生産工程従事者	1,452	19.9	1,647	24.6
I. 輸送・機械運転従事者	260	3.6	230	3.4
J. 建設・採掘従事者	361	5.0	296	4.4
K. 運搬・清掃・包装等従事者	413	5.7	461	6.9
L. 分類不能の職業	28	0.4	30	0.4
合計	7,283	100.0	6,772	101.3

職業大分類別人口構成比（平成12年）



職業大分類別人口構成比（令和2年）



## C0202 事業所数・従業者数・売上金額

### C0202-1 事業所数・従業者数・売上金額

令和3年における事業所数は600事業所であり、そのうち卸売業・小売業が117事業所(19.5%)、建設業が89事業所(14.8%)、製造業が84事業所(14.0%)となっている。従業者数については製造業が1,915人(34.8%)と最も多くを占めており、次いで医療・福祉、卸売業・小売業の順に多くなっている。

平成13年から令和3年までの事業所数と従業者数の推移をみると、事業所数は、平成17年に705事業所まで増加し、その後減少し平成8年と比較して事業所数は13事業所減となるが、従業者数は徐々に増加しており、令和3年の従業者数は469人増となっている。

表2-5 産業大分類別事業所数・従業者数推移及び売上金額

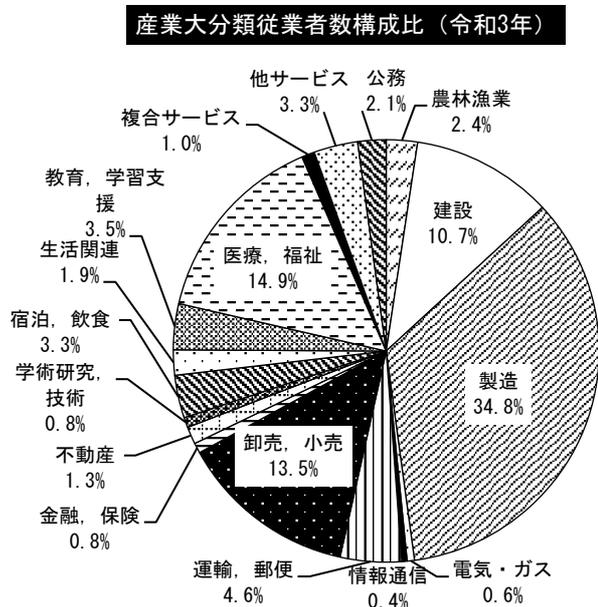
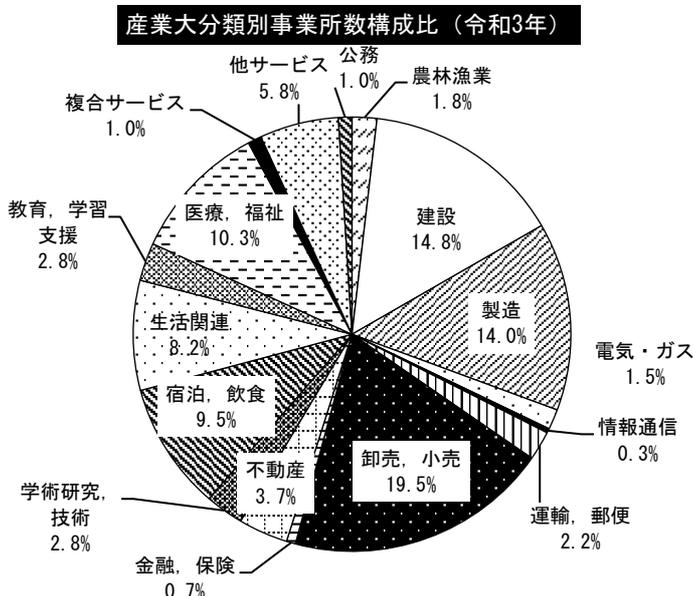
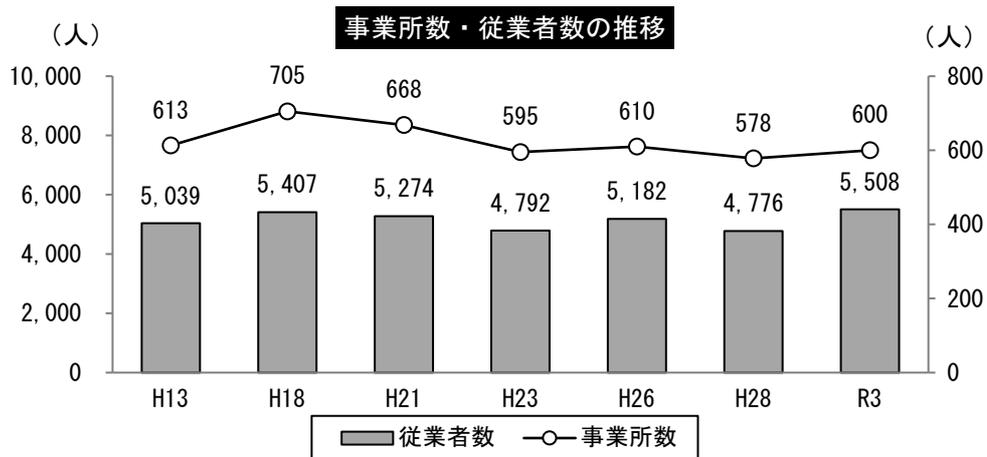
(事業所・企業統計調査, 経済センサス-基礎調査, 活動調査 (基準日: 令和6年3月31日現在))

産業大分類	平成13年		平成18年		平成21年	
	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)
A. B. C. 農 林 漁 業	1	10	3	13	5	50
D. 鉱 業	-	-	-	-	-	-
E. 建 設 業	85	631	117	666	112	662
F. 製 造 業	104	1,924	112	1,959	107	1,958
G. 電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業	4	20	2	13	2	13
H. 情 報 通 信 業	17	187	3	24	1	11
I. 運 輸 業			20	163	21	193
J. 卸 売 ・ 小 売 業	222	1,044	160	884	154	780
K. 金 融 ・ 保 険 業	4	48	7	47	9	56
L. 不 動 産 業	5	12	8	14	14	24
M. 飲 食 店 , 宿 泊 業	163	1,079	62	283	55	277
N. 医 療 , 福 祉			54	569	51	604
O. 教 育 , 学 習 支 援 業			20	214	19	200
P. 複 合 サ ー ビ ス 事 業			9	131	5	73
Q. サービス業 (他に分類されないもの)			120	354	105	308
R. 公 務 (他に分類されないもの)	8	84	8	73	8	65
合 計	613	5,039	705	5,407	668	5,274

産業大分類	平成23年	
	事業所数	従業者数 (人)
A. B. C. 農 林 漁 業	6	38
D. 鉱 業	-	-
E. 建 設 業	102	596
F. 製 造 業	100	1,891
G. 電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業		
H. 情 報 通 信 業	1	21
I. 運 輸 業	15	169
J. 卸 売 ・ 小 売 業	139	832
K. 金 融 ・ 保 険 業	7	50
L. 不 動 産 業	15	28
M. 飲 食 店 , 宿 泊 業	53	193
N. 医 療 , 福 祉	40	556
O. 教 育 , 学 習 支 援 業	12	29
P. 複 合 サ ー ビ ス 事 業	6	69
Q. サービス業 (他に分類されないもの)	99	320
R. 公 務 (他に分類されないもの)		
合 計	595	4,792

産業大分類	平成26年		平成28年		令和3年	
	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)	事業所数	従業者数 (人)
A. B. 農林漁業	6	47	6	76	11	130
C. 鉱業, 採石業, 砂利採取業	-	-	-	-	-	-
D. 建設業	98	526	101	568	89	592
E. 製造業	94	1,923	93	1,883	84	1,915
F. 電気・ガス・熱供給・水道業	1	17	2	3	9	31
G. 情報通信業	1	20	1	23	2	22
H. 運輸業, 郵便業	13	165	12	170	13	256
I. 卸売業, 小売業	136	768	129	686	117	745
J. 金融業, 保険業	5	50	5	46	4	43
K. 不動産業, 物品賃貸業	16	39	17	45	22	73
L. 学術研究, 専門・技術サービス業	15	41	14	37	17	43
M. 宿泊業, 飲食サービス業	53	257	54	199	57	180
N. 生活関連サービス業, 娯楽業	53	133	48	115	49	106
O. 教育, 学習支援業	19	210	13	21	17	194
P. 医療, 福祉	60	698	50	714	62	822
Q. 複合サービス事業	5	59	5	60	6	54
R. サービス業 (他に分類されないもの)	29	137	28	130	35	184
S. 公務 (他に分類されるものを除く)	6	92			6	118
合計	610	5,182	578	4,776	600	5,508

注1) 平成28年は全事業所ではなく民営事業所のみで、売上金額はさらに外国の会社及び法人でない団体を除く  
注2) 規模別事業所数には「出向・派遣従業者のみ3事業所」を含まない  
注3) 「-」は該当数値なし



## C0202-2 産業中分類別工業出荷額

平成5年から令和2年までのデフレータ補正值での工業出荷額推移をみると、平成12年までは概ね順調な増加傾向を示しており約400億円までに達した。平成13年に減少に転じたものの、平成19年には約371億円まで回復している。平成21年まで減少は続き約253億円まで下落したが、平成22年以降は増減を繰り返しつつも緩やかに増加し、令和元年には約369億円まで上昇している。

令和3年の工業出荷額を産業中分類別に構成比でみると、電気機械器具が36.9%と多くを占めており、次いで生産用機械器具が22.3%、プラスチックが14.2%となっている。

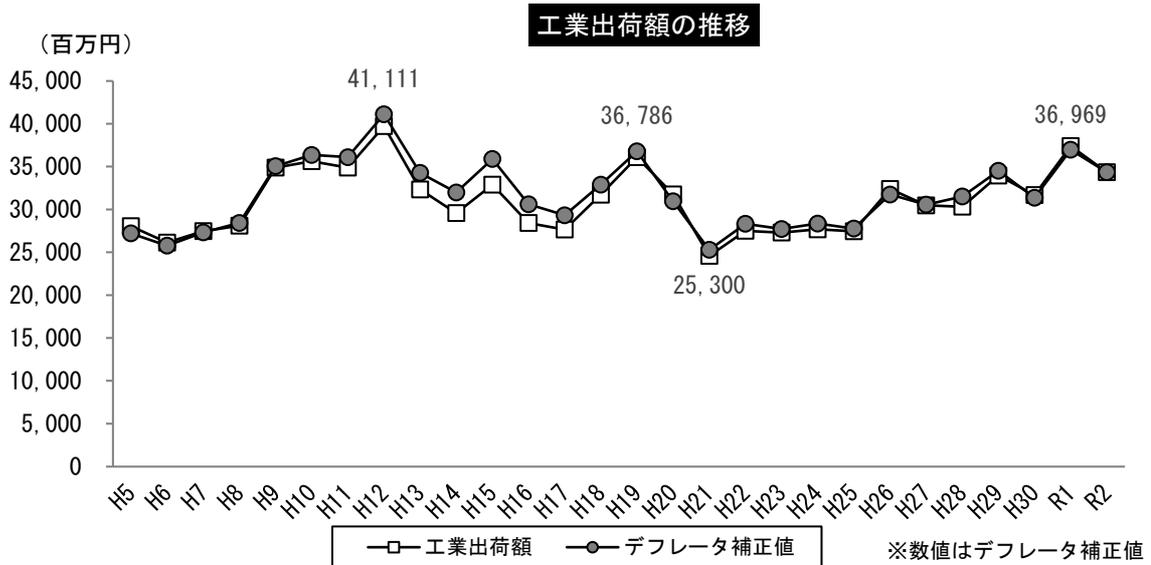


表2-6 工業出荷額推移

単位：100万円

	工業出荷額	デフレータ補正值
平成5年	28,049	27,208
平成6年	26,138	25,777
平成7年	27,466	27,318
平成8年	28,102	28,429
平成9年	34,883	35,050
平成10年	35,629	36,366
平成11年	34,886	36,105
平成12年	39,727	41,111
平成13年	32,343	34,265
平成14年	29,571	31,984
平成15年	32,888	35,887
平成16年	28,421	30,612
平成17年	27,659	29,318
平成18年	31,730	32,903
平成19年	36,090	36,786
平成20年	31,760	30,952
平成21年	24,594	25,300
平成22年	27,510	28,329
平成23年	27,302	27,718
平成24年	27,686	28,352
平成25年	27,453	27,768
平成26年	32,394	31,743
平成27年	30,476	30,565
平成28年	30,316	31,514
平成29年	33,963	34,506
平成30年	31,677	31,371
令和元年	37,400	36,969
令和2年	34,347	34,347

産業中分類別工業出荷額構成比 (令和2年)

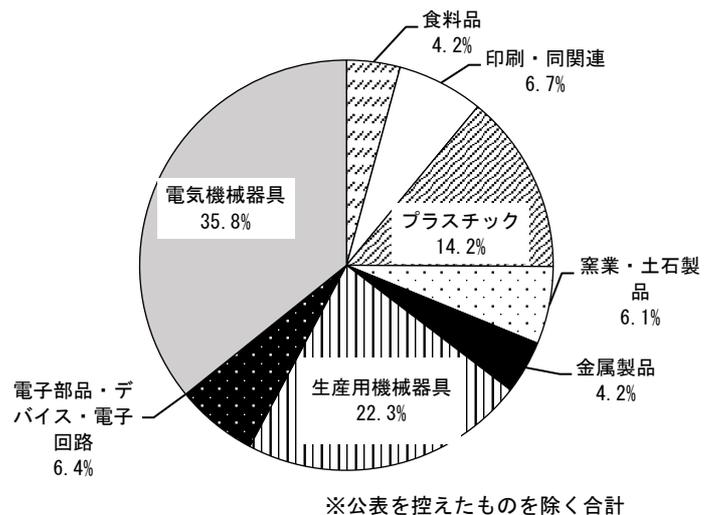


表 2-7 産業中分類別工業出荷額

(工業統計調査, 経済センサス-基礎調査, 活動調査 (基準日: 令和 6 年 3 月 31 日現在))

単位: 100 万円

産業中分類	平成5年	平成6年	平成7年	平成8年	平成9年	平成10年	平成11年	平成12年
	デフレタ 補正值							
合計	27,208	25,777	27,318	28,429	35,050	36,366	36,105	41,111
12. 食料品 (製造業)	1,303	1,320	831	1,215	1,399	1,364	1,278	1,237
13. 飲料・飼料・たばこ製造業	-	-	-	×	×	×	×	×
14. 繊維 (工業)	×	×	×	×	×	×	×	×
15. 衣料その他の繊維製品	77	×	×	75	69	59	57	49
16. 木材・木製品	460	432	464	492	513	440	140	143
17. 家具・装備品	276	215	228	218	227	202	161	168
18. パルプ・紙・紙加工品	×	×	×	×	×	×	×	×
19. 出版・印刷・同関連	93	112	626	269	2,515	1,808	1,857	1,721
20. 化学	×	×	×	×	×	×	-	-
21. 石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	-	-
22. プラスチック	743	696	815	×	×	×	×	×
23. ゴム製品	-	-	×	×	×	×	×	×
24. なめし皮・同製品・毛皮	-	×	×	×	×	×	×	-
25. 窯業・土石製品	3,777	3,306	3,322	3,118	3,089	2,733	2,927	2,489
26. 鉄鋼	×	×	×	×	×	×	×	×
27. 非鉄金属	×	×	×	×	×	×	×	×
28. 金属製品	1,063	1,456	1,430	1,409	1,521	1,431	1,335	1,309
29. 一般機械器具	4,944	4,164	4,486	4,912	5,266	5,716	6,173	6,445
30. 電気機械器具	9,148	11,733	13,099	12,710	14,944	15,891	19,281	31,408
31. 輸送用機械器具	3,022	199	215	211	248	205	205	223
32. 精密機械器具	513	228	356	1,871	2,278	2,650	471	3,342
33. 武器	-	-	-	-	-	-	-	-
34. その他	133	233	×	154	255	202	181	170

産業中分類	平成13年	平成14年	平成15年	平成16年	平成17年	平成18年	平成19年	平成20年
	デフレタ 補正值							
合計	34,265	31,984	35,887	30,612	29,318	32,903	36,786	30,952
09. 食料品 (製造業)	969	1,013	918	741	533	×	×	406
10. 飲料・飼料・たばこ製造業	×	×	×	×	×	×	×	×
11. 繊維 (工業)	×	×	×	×	×	×	×	×
12. 衣料その他の繊維製品	×	×	×	×	×	×	×	-
13. 木材・木製品	×	×	×	×	×	×	×	×
14. 家具・装備品	×	×	×	×	×	×	×	×
15. パルプ・紙・紙加工品	×	×	×	×	×	×	×	×
16. 出版・印刷・同関連	×	×	3,158	3,291	2,958	×	×	×
17. 化学	×	×	×	×	×	×	×	×
18. 石油製品・石炭製品	-	-	-	-	-	-	×	-
19. プラスチック	770	954	1,056	1,938	1,052	2,042	2,189	2,795
20. ゴム製品	-	-	-	-	-	-	-	-
21. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-
22. 窯業・土石製品	2,907	2,620	2,271	2,157	2,059	1,864	1,660	1,490
23. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	×	×
24. 非鉄金属	×	×	×	×	×	×	×	×
25. 金属製品	1,428	1,230	1,289	1,377	354	1,259	1,175	1,122
26. 一般機械器具	6,364	5,329	6,457	9,659	6,942	12,455	14,773	4,737
27. 電気機械器具	12,120	6,780	9,418	3,215	4,124	4,616	5,364	8,150
28. 情報通信機械器具		×	-	-	-	-	-	-
29. 電子部品デバイス製造業		4,298	7,904	4,309	3,793	2,858	2,639	2,626
30. 輸送用機械器具	235	×	170	373	561	3,114	3,560	450
31. 精密機械器具	4,554	3,997	217	×	3,624	178	×	-
32. その他	×	×	×	×	×	×	×	148

単位：100 万円

産業中分類	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
	デフレータ補正值	デフレータ補正值	デフレータ補正值	デフレータ補正值
合計	25,300	28,329	27,718	28,352
09. 食料品（製造業）	ㄨ	ㄨ	892	939
10. 飲料・飼料・たばこ製造業	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
11. 繊維（工業）	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
12. 衣料その他の繊維製品	-	-	-	-
13. 木材・木製品	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
14. 家具・装備品	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
15. パルプ・紙・紙加工品	ㄨ	-	1,969	ㄨ
16. 出版・印刷・同関連	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
17. 化学	ㄨ	ㄨ	-	-
18. 石油製品・石炭製品	-	-	ㄨ	-
19. プラスチック	1,908	2,626	2,714	2,881
20. ゴム製品	-	-	-	-
21. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-
22. 窯業・土石製品	1,584	1,891	1,769	1,714
23. 鉄鋼	ㄨ	-	-	-
24. 非鉄金属	ㄨ	ㄨ	ㄨ	-
25. 金属製品	882	1,084	1,139	1,245
26. 一般機械器具	458	3,589	4,294	8,280
27. 電気機械器具	5,818	7,965	5,946	7,921
28. 情報通信機械器具	-	-	-	-
29. 電子部品デバイス製造業	5,119	2,404	2,233	1,769
30. 輸送用機械器具	375	237	197	152
31. 精密機械器具	-	-	-	-
32. その他	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ

産業中分類	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
	デフレータ補正值							
合計	27,768	31,743	30,565	31,514	34,506	31,371	36,969	34,347
09. 食料品（製造業）	947	982	695	1,213	1,327	1,293	1,008	1,147
10. 飲料・飼料・たばこ飼料製造業	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
11. 繊維	ㄨ	ㄨ	ㄨ	-	-	-	-	-
12. 木材・木製品（家具除く）	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
13. 家具・装備品	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	-	-	-	-
14. パルプ・紙・紙加工品	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	-	ㄨ	ㄨ
15. 印刷・同関連	ㄨ	1,848	1,820	1,843	1,815	1,769	1,812	1,845
16. 化学	-	-	-	-	-	-	-	-
17. 石油製品・石炭製品	-	-	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
18. プラスチック	3,144	3,467	3,771	3,662	3,983	3,762	4,275	3,871
19. ゴム製品	-	-	ㄨ	-	-	-	-	-
20. なめし皮・同製品・毛皮	-	-	-	-	-	-	-	-
21. 窯業・土石製品	1,837	1,927	1,875	2,000	1,733	1,690	2,007	1,674
22. 鉄鋼	-	-	-	-	-	-	-	-
23. 非鉄金属	-	-	-	-	-	-	-	ㄨ
24. 金属製品	1,149	1,300	1,454	1,490	1,535	1,310	1,338	1,147
25. はん用機械器具	3,729	4,083	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
26. 生産用機械器具	4,533	4,738	4,276	3,802	5,492	4,853	6,427	6,107
27. 業務用機械器具	ㄨ	ㄨ	1,681	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
28. 電子部品・デバイス・電子回路	1,957	2,062	1,775	1,870	2,066	1,890	1,760	1,756
29. 電気機械器具	6,703	7,914	6,580	7,935	9,652	8,867	10,478	9,795
30. 情報通信機械器具	-	-	-	-	-	-	-	-
31. 輸送用機械器具	ㄨ	ㄨ	183	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ	ㄨ
32. その他	ㄨ	ㄨ	ㄨ	-	-	-	-	-

注1) デフレータ補正值は、令和2年を100とした企業物価指数（日本銀行調査統計局）により割り戻した値

注2) 「-」は該当数値なし、「ㄨ」は統計法により公表を控えたもの

注3) 平成14年以降は事業者4人以上の事業所の数値

注4) 平成20年の産業分類の改定により、新たに分類された「はん用機械器具製造業」「生産用機械器具製造業」「業務用機械器具製造業」は「一般機械器具製造業」を含む

## 工業出荷額推計

デフレーター補正值による工業出荷額の推計をみると、全ての推計値で減少傾向となった。

本推計は過去の実績をもとに行うものであり、推計結果は緩やかな線で示される。近年見られる極端な増減差により相関係数は低いことから、参考値として捉えることが望ましい。

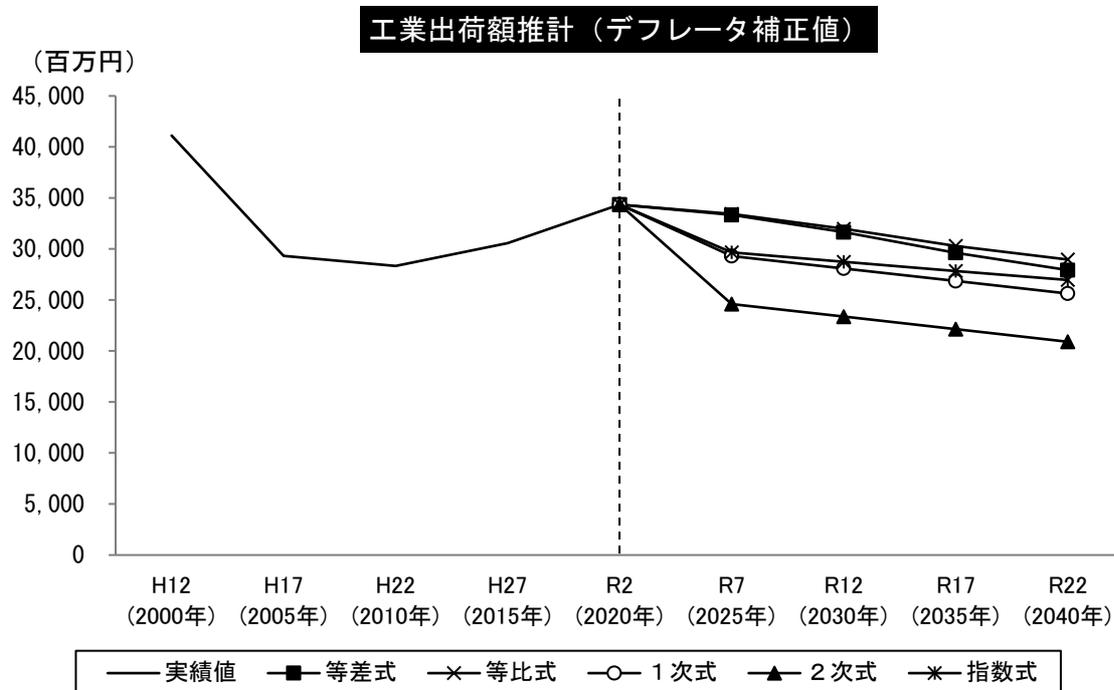
表 2 - 8 工業出荷額推計

(工業統計調査, 経済センサス-基礎調査, 活動調査 (基準日: 令和 6 年 3 月 31 日現在))

単位: 100 万円

工業出荷額		平成12年 2000年	平成17年 2005年	平成22年 2010年	平成27年 2015年	令和2年 2020年	令和7年 2025年	令和12年 2030年	令和17年 2035年	令和22年 2040年
実績値 (デフレーター補正值)		41,111	29,318	28,329	30,565	34,347				
推 計 値	等 差 式						33,332	31,641	29,612	27,921
	等 比 式						33,434	31,966	30,289	28,959
	1 次 式						29,304	28,079	26,854	25,629
	2 次 式						24,590	23,362	22,134	20,906
	指 数 式						29,662	28,734	27,834	26,963

【相関係数】 等差式  $R^2=0.2754$     等比式  $R^2=0.2771$     一次式  $R^2=0.1651$   
 二次式  $R^2=0.1399$     指数式  $R^2=0.1579$



### C0202-3 産業中分類別商業販売額

年間商品販売額のデフレーター補正值での推移をみると平成3年の約163億円から増加傾向が続  
き、平成11年に約179億円まで上昇したものの平成14年以降は減少傾向となり、平成23年  
には約122億円まで大幅な下落したが、以降はほぼ横ばいに推移し、令和3年は131億円となっ  
ている。

令和3年の産業中分類別商品販売額を構成比で見ると、飲食料品小売業が52.5%と最も多く、  
次いで機械器具卸売業29.5%、無店舗小売業が12.9%となっている。

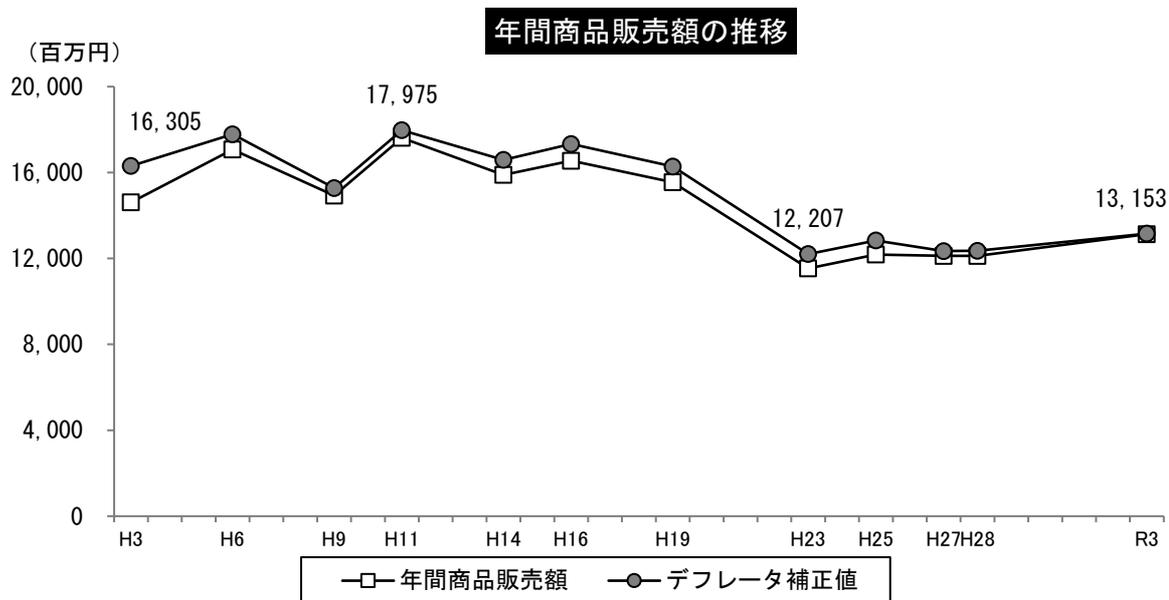
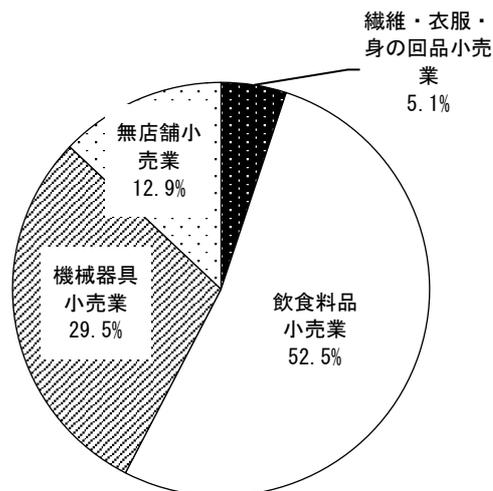


表2-9 年間商品販売額推移

単位：100万円

	年間商品販売額	デフレーター補正值
平成3年	14,609	16,305
平成6年	17,071	17,782
平成9年	14,926	15,278
平成11年	17,615	17,975
平成14年	15,891	16,588
平成16年	16,548	17,328
平成19年	15,547	16,280
平成23年	11,536	12,207
平成25年	12,180	12,835
平成27年	12,119	12,342
平成28年	12,119	12,354
令和3年	13,127	13,153

産業中分類別年間商品販売額構成比 (令和3年)



※公表を控えたものを除く合計

表 2-10 産業中分類別年間商品販売額推移

(商業統計調査, 経済センサス-基礎調査, 活動調査 (基準日: 令和 6 年 3 月 31 日現在))

単位: 100 万円

産業中分類	平成3年	平成6年	平成9年	平成11年	平成14年	平成16年	平成19年
	デフレタ 補正值						
合計	16,305	17,782	15,278	17,975	16,588	17,328	16,280
卸売業計	2,425	2,237	2,485	3,667	2,340	2,281	3,272
48 各種商品卸売業	-	-	χ	χ	χ	χ	-
49 繊維・衣服等卸売業	χ	-	-	-	χ	-	-
50 飲食料品卸売業	χ	-	-	-	-	χ	χ
51 建築材料、鉱物金属等卸売業	χ	1,699	1,622	1,631	1,050	930	1,657
52 機械器具卸売業	χ	χ	χ	χ	χ	-	834
53 その他の卸売業	χ	χ	χ	553	232	732	714
小売業計	13,880	15,545	12,793	14,307	14,247	15,047	13,008
54 各種商品小売業	-	-	-	-	-	-	-
55 繊維・衣服・身の回品小売り業	1,162	1,004	845	837	634	849	431
56 飲食料品小売業	4,706	4,518	4,134	6,653	5,990	5,809	5,381
57 自動車・自転車小売業	2,714	2,695	2,415	2,385	2,731	3,078	χ
58 家具・じゅう器等小売業	1,469	1,236	1,236	1,005	626	696	355
59 その他の小売業	3,828	6,091	4,164	3,428	4,265	4,615	4,723

産業中分類	平成23年	平成25年	平成27年	平成28年	令和3年
	デフレタ 補正值	デフレタ 補正值	デフレタ 補正值	デフレタ 補正值	デフレタ 補正值
合計	12,207	12,835	12,342	12,354	13,153
卸売業計	3,744	3,599	3,854	3,858	3,757
50 各種商品卸売業	-	/	-	/	/
51 繊維・衣服等卸売業	-	/	-	/	/
52 飲食料品卸売業	96	/	χ	/	/
53 建築材料、鉱物金属等卸売業	891	/	797	/	/
54 機械器具卸売業	1,609	/	2,318	/	/
55 その他の卸売業	1,147	/	χ	/	/
小売業計	8,463	9,236	8,487	8,496	9,397
56 各種商品小売業	-	-	-	-	χ
57 繊維・衣服・身の回品小売り業	354	320	339	339	285
58 飲食料品小売業	2,639	2,298	2,468	2,470	2,958
59 機械器具小売業	1,344	1,549	1,445	1,446	1,661
60 その他の小売業	3,370	4,565	3,744	3,747	χ
61 無店舗小売業	756	504	492	492	727

注1) デフレタ補正值は、令和3年を100とした消費者物価指数(総務省統計局)により割り戻した値

注2) 「-」は該当数値なし、「χ」は統計法により公表を控えたもの

注3) 平成25年、平成28年、令和3年について、町村別の卸売業の内訳は公表なし

## 商品販売額推計

デフレーター補正值による商品販売額の推計をみると概ね減少傾向であり、そのうち等差式によると令和23年（2041年）には、約95億円まで下落すると推測される。

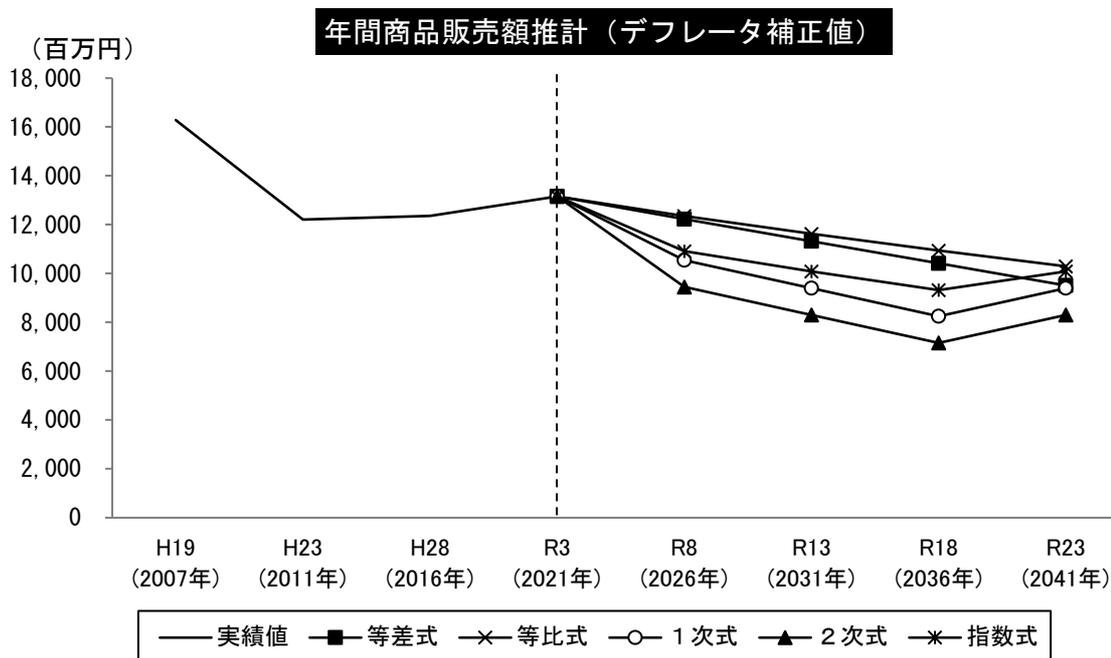
表2-11 年間商品販売額推計

（商業統計調査, 経済センサス-基礎調査, 活動調査（基準日：令和6年3月31日現在））

単位：100万円

工業出荷額		平成19年 2007年	平成23年 2011年	平成28年 2016年	令和3年 2021年	令和8年 2026年	令和13年 2031年	令和18年 2036年	令和23年 2041年
実績値 (デフレーター補正值)		16,280	12,207	12,354	13,153				
推 計 値	等差式					12,222	11,317	10,412	9,507
	等比式					12,351	11,622	10,936	10,290
	1次式					10,539	9,394	8,249	9,394
	2次式					9,444	8,298	7,152	8,298
	指数式					10,907	10,083	9,320	10,083

【相関係数】 等差式  $R^2=0.9525$     等比式  $R^2=0.9137$     一次式  $R^2=0.8271$   
 二次式  $R^2=0.7903$     指数式  $R^2=0.8233$



### ③ 土地利用

#### C0302 土地利用現況

都市計画区域における土地利用別現況は、自然的土地利用が 1,796.1ha (69.8%) であり、そのうち農地が 1,128.0ha (43.8%) と、多くを占めている。都市的土地利用は 776.9ha (30.2%) であり、そのうち宅地は 427.9ha (16.4%) となっている。

また、用途地域指定区域 164.2ha のうち都市的土地利用が 128.8ha (78.4%) であり、そのうち宅地が 84.9ha (51.7%) と多くを占めている。農地は用途地域指定区域内に 28.4ha (17.3%) 残存している。用途地域指定外区域は 2,408.8ha のうち自然的土地利用が 1,760.7ha (73.1%) であり、そのうち農地が 1,099.6ha (45.6%) を占めている。

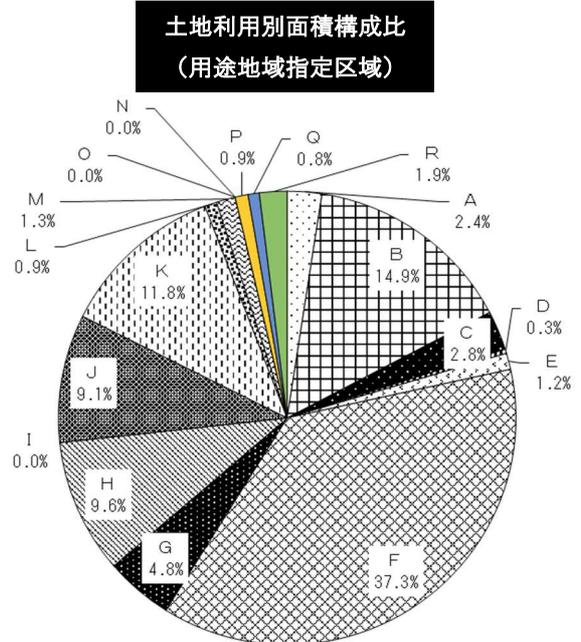
表 3-1 土地利用別面積

土地利用区分			都市計画区域					
			用途地域指定区域		用途地域指定外区域			
			面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)	面積 (ha)	構成比 (%)
自然的 土地 利用	農 地	田	4.0	2.4	218.7	9.1	222.7	8.7
		畑	24.4	14.9	880.9	36.6	905.3	35.2
		小 計	28.4	17.3	1,099.6	45.6	1,128.0	43.8
		山 林	4.6	2.8	469.7	19.5	474.3	18.4
		水 面	0.5	0.3	64.7	2.7	65.2	2.5
		その他の自然地	1.9	1.2	126.7	5.3	128.6	5.0
		小 計	35.4	21.6	1,760.7	73.1	1,796.1	69.8
都市的 土地 利用	宅 地	住宅用地	61.3	37.3	239.2	9.9	300.5	11.7
		商業用地	7.9	4.8	18.6	0.8	26.5	1.0
		工業用地	15.7	9.6	79.2	3.3	94.9	3.7
		小 計	84.9	51.7	337.0	14.0	421.9	16.4
		農林漁業施設用地	0.0	0.0	5.4	0.2	5.4	0.2
		公益施設用地	15.0	9.1	37.1	1.5	52.1	2.0
		道路用地	19.3	11.8	188.3	7.8	207.6	8.1
		交通施設用地	1.4	0.9	4.9	0.2	6.3	0.2
		公共空地	2.2	1.3	24.1	1.0	26.3	1.0
		その他公的施設用地	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他の空地①	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		その他の空地②	1.5	0.9	32.5	1.3	34.0	1.3
		その他の空地③	1.3	0.8	2.1	0.1	3.4	0.1
		その他の空地④	3.2	1.9	16.7	0.7	19.9	0.8
		小 計	128.8	78.4	648.1	26.9	776.9	30.2
合 計			164.2	100.0	2,408.8	100.0	2,573.0	100.0
可 住 地			112.5	68.5	1,987.0	82.5	2,099.5	81.6
非 可 住 地			51.7	31.5	421.8	17.5	473.5	18.4

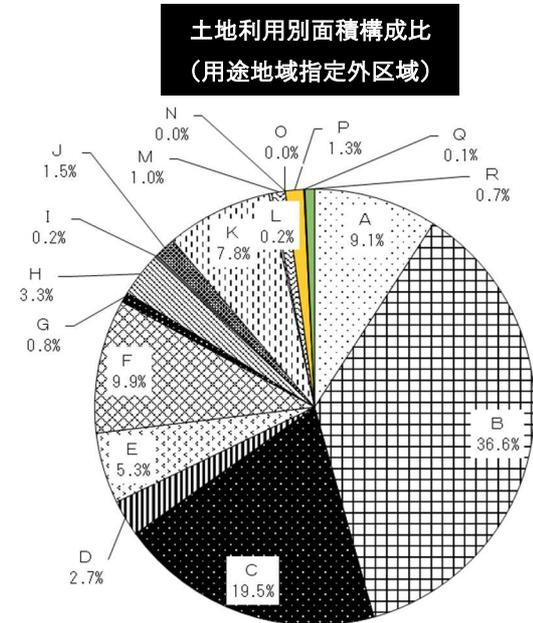
注 1) 非可住地は、以下の通りとする

「水面」、「その他の自然地」、「商業用地」の内でも敷地面積 1 ha 以上の大規模施設用地、「公共・公益用地」、「道路用地」、「交通施設用地」、「その他公的施設用地」  
これらのほか、土地利用状況に関係なく全ての工業専用地域

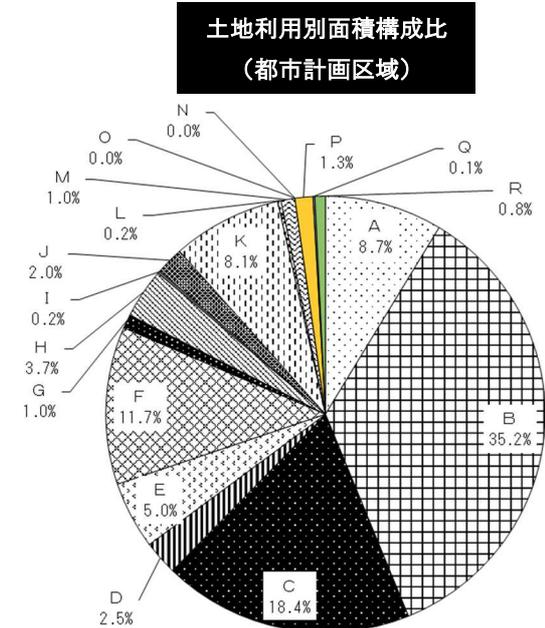
用途地域指定区域	面積 (ha)	構成比 (%)
A 田	4.0	2.4
B 畑	24.4	14.9
C 山林	4.6	2.8
D 水面	0.5	0.3
E その他の自然地	1.9	1.2
F 住宅用地	61.3	37.3
G 商業用地	7.9	4.8
H 工業用地	15.7	9.6
I 農林漁業施設用地	0.0	0.0
J 公益施設用地	15.0	9.1
K 道路用地	19.3	11.8
L 交通施設用地	1.4	0.9
M 公共空地	2.2	1.3
N その他公的施設用地	0.0	0.0
O その他の空地①	0.0	0.0
P その他の空地②	1.5	0.9
Q その他の空地③	1.3	0.8
R その他の空地④	3.2	1.9
合計	164.2	100.0



用途地域指定外区域	面積 (ha)	構成比 (%)
A 田	218.7	9.1
B 畑	880.9	36.6
C 山林	469.7	19.5
D 水面	64.7	2.7
E その他の自然地	126.7	5.3
F 住宅用地	239.2	9.9
G 商業用地	18.6	0.8
H 工業用地	79.2	3.3
I 農林漁業施設用地	5.4	0.2
J 公益施設用地	37.1	1.5
K 道路用地	188.3	7.8
L 交通施設用地	4.9	0.2
M 公共空地	24.1	1.0
N その他公的施設用地	0.0	0.0
O その他の空地①	0.0	0.0
P その他の空地②	32.5	1.3
Q その他の空地③	2.1	0.1
R その他の空地④	16.7	0.7
合計	2,408.8	100.0



都市計画区域	面積 (ha)	構成比 (%)
A 田	222.7	8.7
B 畑	905.3	35.2
C 山林	474.3	18.4
D 水面	65.2	2.5
E その他の自然地	128.6	5.0
F 住宅用地	300.5	11.7
G 商業用地	26.5	1.0
H 工業用地	94.9	3.7
I 農林漁業施設用地	5.4	0.2
J 公益施設用地	52.1	2.0
K 道路用地	207.6	8.1
L 交通施設用地	6.3	0.2
M 公共空地	26.3	1.0
N その他公的施設用地	0.0	0.0
O その他の空地①	0.0	0.0
P その他の空地②	34.0	1.3
Q その他の空地③	3.4	0.1
R その他の空地④	19.9	0.8
合計	2,573.0	100.0



### C0304 宅地開発状況

令和元年から令和5年の過去5年間の宅地開発状況は、開発許可による商業用地 6,345.68 m<sup>2</sup>の開発行為が1件ある。

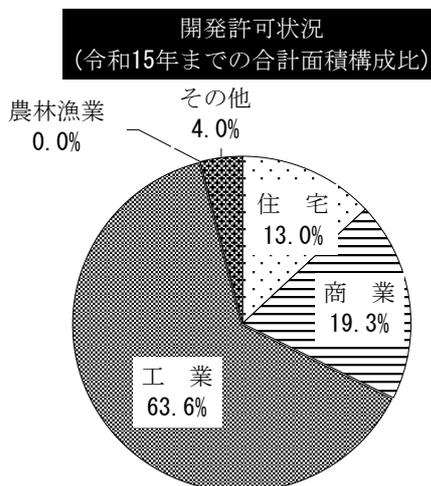
令和5年までの合計は面積が 237,622.03 m<sup>2</sup>、22 件となっており、そのうち工業が 151,219.60 m<sup>2</sup>、11 件を占めている。

表 3-2 開発行為許可状況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日現在))

年次	都市計画区域											
	住宅		商業		工業		農林漁業		その他		合計	
	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)	面積 (㎡)	件数 (件)
~H2	24,062.96	4	0.00	0	87,208.38	5	0.00	0	0.00	0	111,271.34	9
H3	0.00	0	4,224.25	1	29,133.22	2	0.00	0	0.00	0	33,357.47	3
H4	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H5	0.00	0	0.00	0	3,410.00	1	0.00	0	0.00	0	3,410.00	1
H6	0.00	0	0.00	0	25,211.00	2	0.00	0	0.00	0	25,211.00	2
H7	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H8	0.00	0	19,839.00	1	6,257.00	1	0.00	0	0.00	0	26,096.00	2
H9	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H10	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H11	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H12	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H13	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H14	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H15	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H16	0.00	0	7,757.26	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	7,757.26	1
H17	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H18	0.00	0	7,757.26	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	7,757.26	1
H19	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H20	6,856.75	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	6,856.75	1
H21	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H22	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H23	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H24	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H25	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	9,559.27	1	9,559.27	1
H26	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H27	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H28	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H29	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
H30	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
R1	0.00	0	6,345.68	1	0.00	0	0.00	0	0.00	0	6,345.68	1
R2	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
R3	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
R4	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
R5	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0	0.00	0
合計	30,919.71	5	45,923.45	5	151,219.60	11	0.00	0	9,559.27	1	237,622.03	22

注) 3,000 m<sup>2</sup>以上の開発行為について集計



### C0305 農地転用状況

令和元年度から令和5年度までの5年間の農地転用面積は、用途地域指定区域では21,854.23㎡、用途地域指定外区域では108,633.85㎡の合計130,488.08㎡となっている。また、5年間の農地面積における転用率は用途地域指定区域が24.5%、用途地域指定外区域が1.6%となっており、用途地域指定区域における転用率の方が高い。

転用用途を面積で見ると、用途地域指定区域、用途地域指定外区域ともに住宅用地への転用が半数以上を占めている。

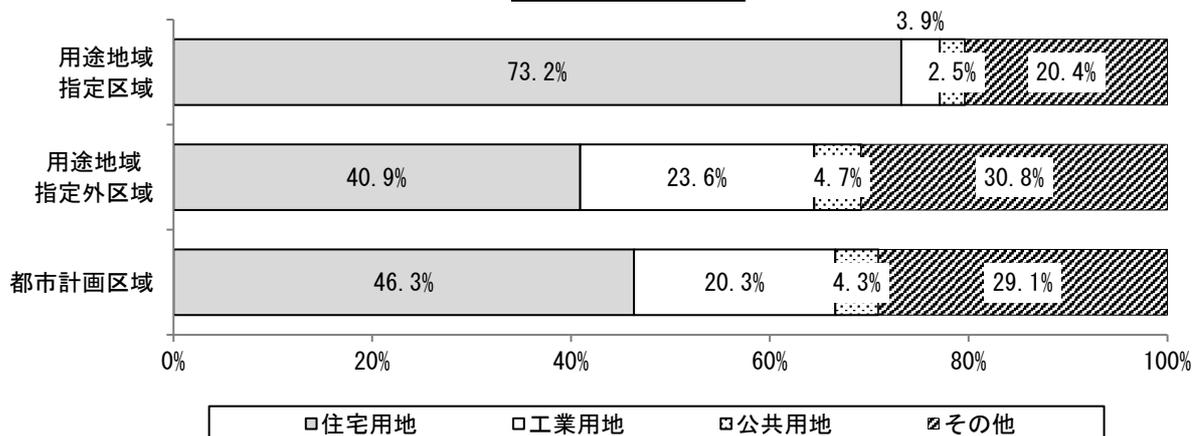
表3-3 農地転用推移

(松川町調査(基準日：令和6年3月31日現在))

		住宅用地		工業用地		公共用地		その他		合計		前年末の農地面積 (㎡)	転用率 (%)
		件数 (件)	面積 (㎡)										
用途地域指定区域	R1	8	3,195.00	0	0.00	0	0.00	1	175.00	9	3,370.00	89,096.00	3.8
	R2	11	5,121.00	0	0.00	0	0.00	1	2,292.00	12	7,413.00	81,683.00	9.1
	R3	9	2,375.00	0	0.00	1	555.00	3	1,089.00	13	4,019.00	77,664.00	5.2
	R4	8	2,387.23	2	847.00	0	0.00	0	0.00	10	3,234.23	74,429.77	4.3
	R5	7	2,924.00	0	0.00	0	0.00	2	894.00	9	3,818.00	70,611.77	5.4
	合計	43	16,002.23	2	847.00	1	555.00	7	4,450.00	53	21,854.23		24.5
用途地域指定外区域	R1	23	10,884.00	5	4,947.00	4	3,197.79	10	15,091.00	42	34,119.79	6,694,745.35	0.5
	R2	16	6,148.42	3	8,212.00	2	1,716.00	14	9,193.00	35	25,269.42	6,669,475.93	0.4
	R3	26	10,065.52	5	6,154.00	0	0.00	7	3,371.33	38	19,590.85	6,649,885.08	0.3
	R4	19	9,425.00	4	4,334.00	0	0.00	4	1,462.39	27	15,221.39	6,634,663.69	0.2
	R5	19	7,932.90	3	1,937.00	1	195.00	4	4,367.50	27	14,432.40	6,620,231.29	0.2
	合計	103	44,455.84	20	25,584.00	7	5,108.79	39	33,485.22	169	108,633.85		1.6
都市計画区域	R1	31	14,079.00	5	4,947.00	4	3,197.79	11	15,266.00	51	37,489.79	6,783,841.35	0.6
	R2	27	11,269.42	3	8,212.00	2	1,716.00	15	11,485.00	47	32,682.42	6,751,158.93	0.5
	R3	35	12,440.52	5	6,154.00	1	555.00	10	4,460.33	51	23,609.85	6,727,549.08	0.4
	R4	27	11,812.23	6	5,181.00	0	0.00	4	1,462.39	37	18,455.62	6,709,093.46	0.3
	R5	26	10,856.90	3	1,937.00	1	195.00	6	5,261.50	36	18,250.40	6,690,843.06	0.3
	合計	146	60,458.07	22	26,431.00	8	5,663.79	46	37,935.22	222	130,488.08		1.9

注) 転用率=過去1年間の農地転用面積/前年の農地面積×100  
 =5年間の農地転用面積/5年前の農地面積×100

農地転用面積構成比



### C0307 新築状況

令和元年度から令和5年度までの5年間における都市計画区域の新築状況は、件数が302件、平均敷地面積が1,528.09㎡（約462坪）、平均建ぺい率が8.3%、平均容積率が11.7%である。

そのうち用途地域指定区域の件数は83件で全新築件数の27.5%になる。

建物用途別にみると、住宅が235件であり全体の77.8%を占めている。用途地域指定区域では主に住宅が82.8%、商業が9.4%となっている。用途地域指定外区域では、主に住宅が75.3%、その他が12.8%となっている。

地域別にみると名子中央や宗源原に多く、特に用途地域指定区域周辺の住宅用地への建築が目立つ。

表3-4 用途地域内外別新築建物状況

(松川町調査(基準日：令和6年3月31日現在))

	新築件数(件)					敷地面積合計(㎡)	平均敷地面積(㎡)	建築面積合計(㎡)	平均建ぺい率(%)	延床面積合計(㎡)	平均容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	その他						
用途地域指定区域	83	70	1	4	8	117,610.10	1,416.99	10,592.39	9.0	14,764.86	12.6
用途地域指定外区域	219	165	2	24	28	343,873.97	1,570.20	27,555.21	8.0	39,150.58	11.4
都市計画区域	302	235	3	28	36	461,484.07	1,528.09	38,147.60	8.3	53,915.44	11.7

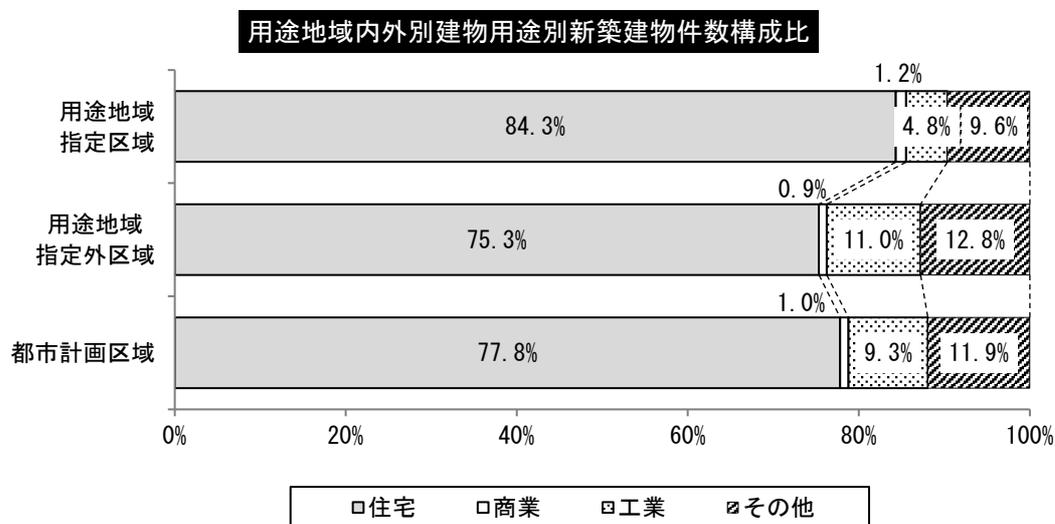


表3-5 地域別新築状況（用途地域指定区域）

（松川町調査(基準日：令和6年3月31日現在)）

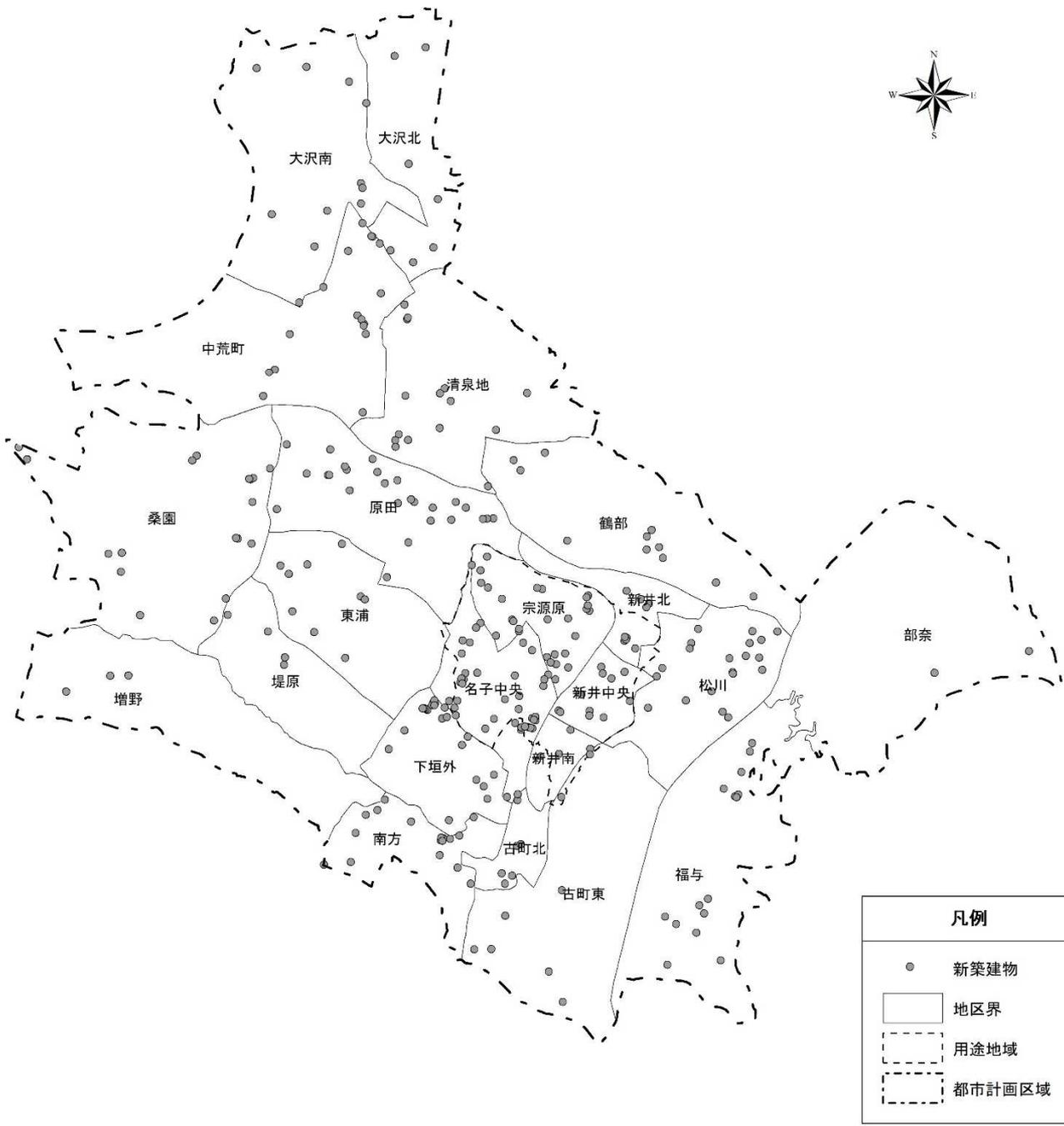
地区名	新築件数(件)					敷地面積合計(m <sup>2</sup> )	平均敷地面積(m <sup>2</sup> )	建築面積合計(m <sup>2</sup> )	平均建ぺい率(%)	延床面積合計(m <sup>2</sup> )	平均容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	その他						
宗源原	28	24	0	4	0	84,391.70	3,013.99	4,596.07	5.4%	6,759.82	8.0%
名子中央	34	32	0	0	2	20,442.43	601.25	2,681.77	13.1%	3,788.01	18.5%
新井北	5	5	0	0	0	1,268.21	253.64	450.04	35.5%	607.85	47.9%
新井中央	11	7	0	0	4	4,945.00	449.55	1,295.43	26.2%	1,876.58	37.9%
新井南	3	1	1	0	1	3,376.41	1,125.47	1,377.79	40.8%	1,450.20	43.0%
古町東	2	1	0	0	1	3,186.35	1,593.18	191.29	6.0%	282.40	8.9%
東浦	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
松川	0	0	0	0	0	-	-	-	-	-	-
用途地域指定区域	83	70	1	4	8	117,610.10	1,416.99	10,592.39	9.0%	14,764.86	12.6%

表3-6 地区別新築状況（用途地域指定外区域）

（松川町調査(基準日：令和6年3月31日現在)）

地区名	新築件数(件)					敷地面積合計(m <sup>2</sup> )	平均敷地面積(m <sup>2</sup> )	建築面積合計(m <sup>2</sup> )	平均建ぺい率(%)	延床面積合計(m <sup>2</sup> )	平均容積率(%)
	合計	住宅	商業	工業	その他						
名子中央	5	5	0	0	0	2,012.30	402.46	473.38	23.5%	599.83	29.8%
新井北	4	4	0	0	0	2,667.78	666.95	409.78	15.4%	704.79	26.4%
新井南	1	1	0	0	0	304.89	304.89	82.40	27.0%	81.57	26.8%
古町東	6	5	0	0	1	2,620.29	436.72	474.31	18.1%	602.57	23.0%
東浦	9	5	2	0	2	22,754.92	2,528.32	2,516.66	11.1%	2,386.09	10.5%
松川	20	13	0	3	4	45,711.52	2,285.58	2,123.80	4.6%	2,486.36	5.4%
部奈	2	2	0	0	0	1,122.51	561.26	87.92	7.8%	126.13	11.2%
福与	15	10	0	2	3	24,574.59	1,638.31	2,675.54	10.9%	3,042.67	12.4%
鶴部	11	6	0	2	3	11,782.03	1,071.09	1,469.19	12.5%	1,653.29	14.0%
古町北	7	6	0	0	1	3,023.24	431.89	516.36	17.1%	777.23	25.7%
下垣外	21	20	0	1	0	8,373.03	398.72	1,654.50	19.8%	2,439.64	29.1%
南方	17	13	0	1	3	8,555.53	503.27	1,616.84	18.9%	1,999.05	23.4%
増野	3	1	0	1	1	1,874.03	624.68	350.22	18.7%	334.07	17.8%
清泉地	15	10	0	4	1	53,799.68	3,586.65	5,055.53	9.4%	7,105.59	13.2%
原田	26	18	0	7	1	62,074.37	2,387.48	2,840.14	4.6%	8,136.90	13.1%
大沢北	7	6	0	1	0	62,601.94	8,943.13	752.39	1.2%	1,113.02	1.8%
堤原	4	2	0	0	2	1,005.56	251.39	284.75	28.3%	288.20	28.7%
大沢南	11	8	0	2	1	12,448.24	1,131.66	1,343.36	10.8%	1,653.54	13.3%
中荒町	17	13	0	0	4	10,026.71	589.81	1,546.25	15.4%	1,800.73	18.0%
桑園	18	17	0	0	1	6,540.81	363.38	1,281.89	19.6%	1,819.31	27.8%
用途地域指定外区域	219	165	2	24	28	343,873.97	1,570.20	27,555.21	8.0%	39,150.58	11.4%
都市計画区域	302	235	3	28	36	461,484.07	1,528.09	38,147.60	8.3%	53,915.44	11.7%

### 新築建物分布図



C0308 条例・協定

都市計画に関する条例・要綱のうち県決定は、都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例、屋外広告物条例及び長野県景観条例等がある。松川町では、松川町都市計画審議会条例や松川町都市公園条例、松川町土地利用の届出等に関する条例等を定めている。

地域地区は用途地域が 164.2ha 指定されている。特別用途地区などその他の地域地区は、指定されていない。地区計画等についても指定はない。

表 3-7 都市計画に関する条例・要綱

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日))

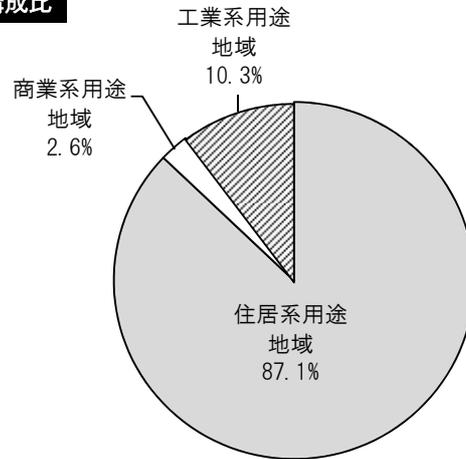
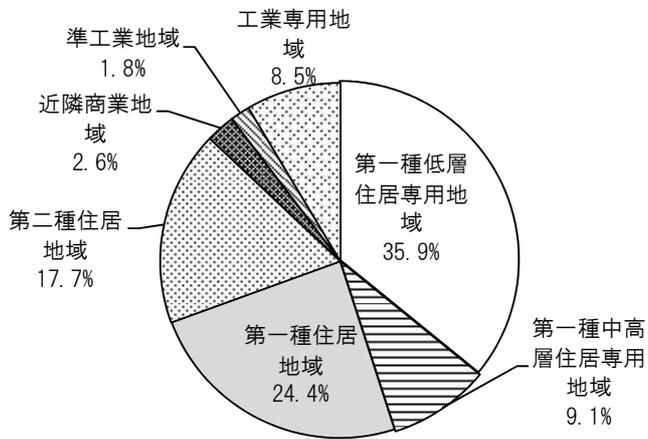
決定主体	条例・要綱等の名称	公布・決定年月日		概要・主旨等
		当初	最終変更	
長野県	屋外広告物条例	H5. 10. 18	H29. 3. 23	屋外広告物法の規定に基づき、屋外広告物の設置、維持並びに屋外広告物の規制に関する必要な事項を定めた条例
	都市計画法に基づく開発許可等の基準に関する条例	H16. 3. 29	H19. 10. 22	開発許可等の基準に関し必要な事項を定めた条例
	長野県景観条例	H4. 3. 19	H29. 3. 23	景観法の規定に基づき景観計画の策定、行為の規制、景観重要建造物等の指定等及び景観資産の指定に必要な事項を定めた条例
	長野県福祉のまちづくり条例	H7. 3. 30	H27. 12. 17	福祉のまちづくりに関し、県、市町村、県民及び事業者の責務の明確化及び不特定かつ多数の者の利用する施設における整備基準を定めた条例
	長野県都市計画審議会条例	S44. 3. 31	H14. 3. 25	都市計画法の規定に基づき、都市計画に関する組織及び運営について定めた条例
松川町	松川町都市計画審議会条例	H12. 3. 22	R6. 4. 1	都市計画法の規定に基づき、都市計画に関する調査審議について定めた条例
	松川町都市公園条例	H21. 3. 12	H25. 4. 1	都市公園法等の規定に基づき、都市公園の設置及び管理について定めた条例
	松川町土地利用の届出等に関する条例	H25. 12. 5		建築物の新築、大規模の修繕及び土地の改変等の行為に際し、土地利用の届出等に関する必要な事項を定めた条例
	松川町移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定める規則	H25. 4. 1		高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律に規定する移動等円滑化のために必要な特定公園施設の設置に関する基準を定めるもの
	松川町景観条例	R2. 9. 3		景観法の規定に基づき景観計画の策定、行為の規制、景観重要建造物等の指定等に関し、必要な事項を定めるもの
	松川町景観条例施行規則	R2. 9. 3		景観法、景観法施行令、景観法施行規則及び松川町景観条例の施行に関し、必要な事項を定めるもの
	松川町屋外広告物に関する規則	R1. 10. 29		屋外広告物条例等の施行について必要な事項を定めるもの

表 3 - 8 都市地域 (用途地域指定区域)

(松川町調査 (基準日 : 令和 6 年 3 月 31 日) )

指用 定途 外区 地 域 城 域 (ha)	用 途 地 域 指 定 区 域 (ha)														備 考
	総 面 積	住第 居一 種 用 地 低 域 層	住第 居二 種 用 地 低 域 層	住第 居一 種 用 中 地 高 域 層	住第 居二 種 用 中 地 高 域 層	第 一 種 住 居 地 域	第 二 種 住 居 地 域	準 住 居 地 域	田 園 住 居 地 域	近 隣 商 業 地 域	商 業 地 域	準 工 業 地 域	工 業 地 域	工 業 専 用 地 域	
2,408.8	164.2	59		15		40	29			4.3			2.9	14	用途地域決定年月日 昭和48年12月25日 最終用途地域決定年月日 平成 8年 3月15日  人口総数 12,530人 (令和2年国勢調査)

用途地域指定区域面積構成比



## ④ 建物

### C0401 建物用途別現況

都市計画区域における建物用途別の比率をみると、共同住宅等の住宅系用途と官公庁施設は用途地域指定区域の方が多くある。一般住宅や、工場・運種倉庫施設、農林漁業施設などをはじめとした多くの用途は用途地域指定区域外の比率が高くなっている。

商業施設や文教厚生施設については用途地域指定区域内・用途地域指定区域外の比率がほぼ等しい。

表 4-1 建物用途別現況（棟数）

（松川町調査（基準日：令和 6 年 3 月 31 日））

	業務施設	商業施設	宿泊施設	商業系用途複合施設	住宅	共同住宅	店舗等併用住宅	店舗等併用共同住宅	作業所併用住宅	官公庁施設	文教厚生施設	運輸倉庫施設	工場	農林漁業用施設	供給処理施設
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
用途地域指定区域	46	111	4	0	2,168	78	135	8	36	5	126	61	175	45	2
用途地域指定区域外	114	141	6	0	6,922	50	688	0	62	2	320	124	465	734	58
都市計画区域	160	252	10	0	9,090	128	823	8	98	7	446	185	640	779	60

表 4-2 建物用途別現況比率（棟数）

（松川町調査（基準日：令和 6 年 3 月 31 日））

	用途地域指定区域	用途地域指定外区域
業務施設	28.8%	71.3%
商業施設	44.0%	56.0%
宿泊施設	40.0%	60.0%
商業系用途複合施設	0.0%	0.0%
住宅	23.9%	76.1%
共同住宅	60.9%	39.1%
店舗等併用住宅	16.4%	83.6%
店舗等併用共同住宅	100.0%	0.0%
作業所併用住宅	36.7%	63.3%
官公庁施設	71.4%	28.6%
文教厚生施設	28.3%	71.7%
運輸倉庫施設	33.0%	67.0%
工場	27.3%	72.7%
農林漁業用施設	5.8%	94.2%
供給処理施設	3.3%	96.7%

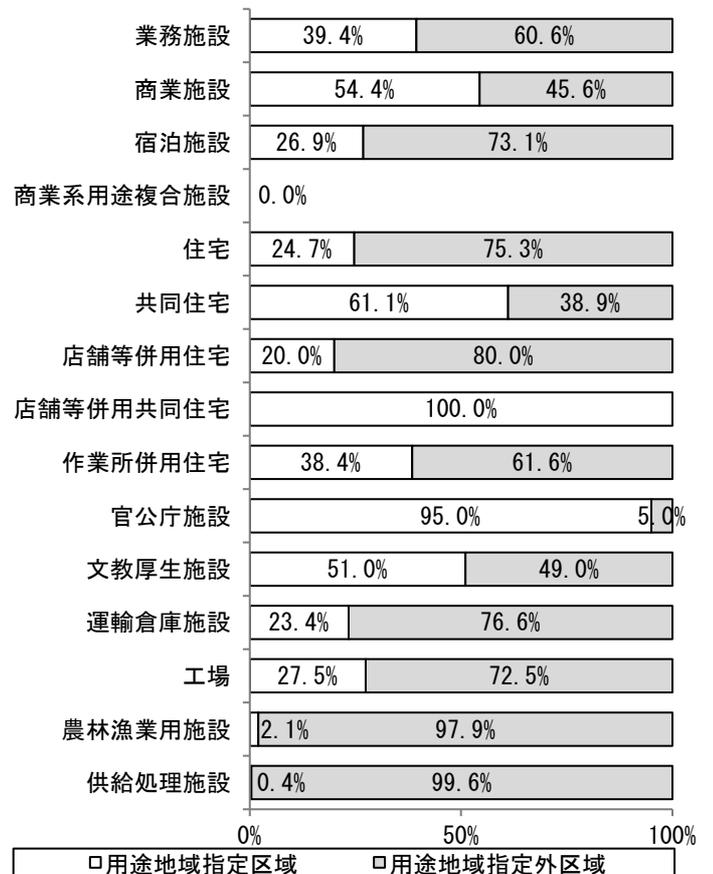


表 4 - 3 建物用途別現況比率（建築面積）

（松川町調査（基準日：令和 6 年 3 月 31 日））

	用途地域 指定区域	用途地域 指定外区域
業務施設	34.2%	65.8%
商業施設	50.3%	49.7%
宿泊施設	26.9%	73.1%
商業系用途複合施設	0.0%	0.0%
住宅	24.3%	75.7%
共同住宅	56.3%	43.7%
店舗等併用住宅	18.0%	82.0%
店舗等併用共同住宅	100.0%	0.0%
作業所併用住宅	39.2%	60.8%
官公庁施設	92.7%	7.3%
文教厚生施設	44.7%	55.3%
運輸倉庫施設	23.4%	76.6%
工場	26.6%	73.4%
農林漁業用施設	2.2%	97.8%
供給処理施設	0.6%	99.4%

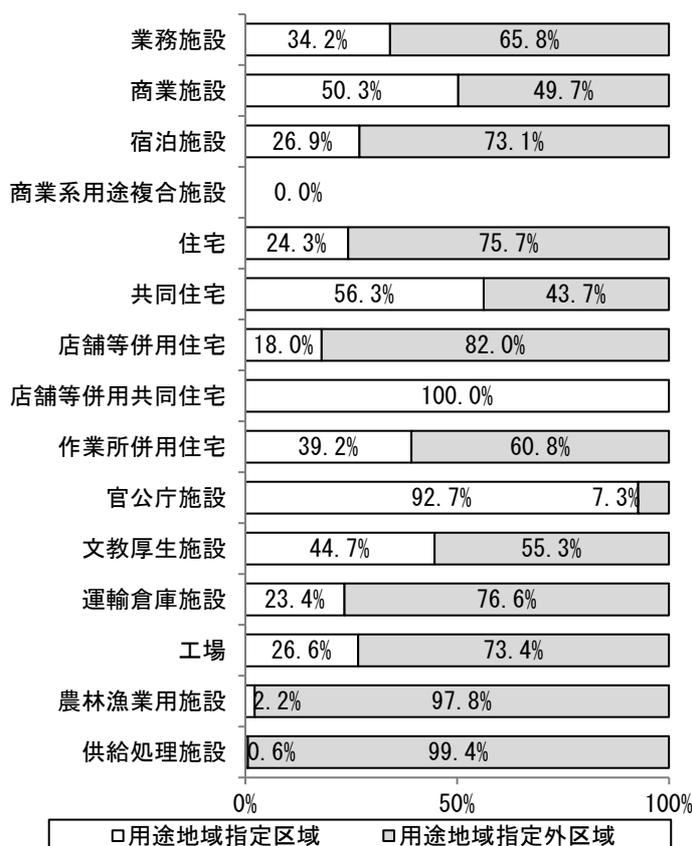
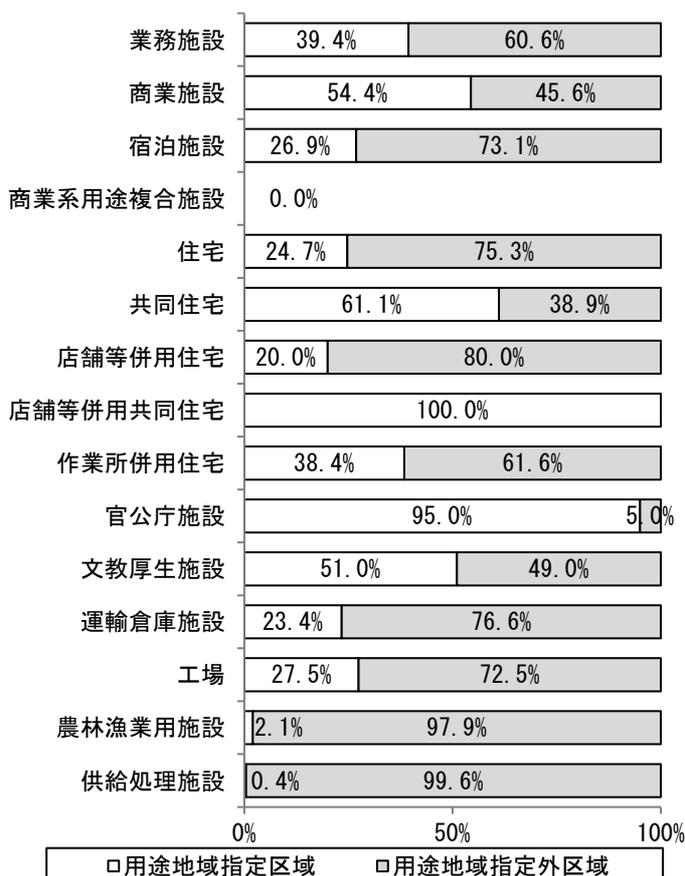


表 4 - 4 建物用途別現況比率（延床面積）

（松川町調査（基準日：令和 6 年 3 月 31 日））

	用途地域 指定区域	用途地域 指定外区域
業務施設	39.4%	60.6%
商業施設	54.4%	45.6%
宿泊施設	26.9%	73.1%
商業系用途複合施設	0.0%	0.0%
住宅	24.7%	75.3%
共同住宅	61.1%	38.9%
店舗等併用住宅	20.0%	80.0%
店舗等併用共同住宅	100.0%	0.0%
作業所併用住宅	38.4%	61.6%
官公庁施設	95.0%	5.0%
文教厚生施設	51.0%	49.0%
運輸倉庫施設	23.4%	76.6%
工場	27.5%	72.5%
農林漁業用施設	2.1%	97.9%
供給処理施設	0.4%	99.6%



## C0402 建物階数別・構造別・建築年別・高さ現況

### C0402-1 建物階数別現況

用途地域指定区域における建物階数別の現況をみると、用途地域指定区域では地上1階の建物が1,575棟で、52.5%、続いて地上2階の建物が1,376棟で、45.9%となっており、この2つが全体の98.4%を占めている。用途地域指定区域外では、1階建てが5,718棟、59.3%、2階建てが3,211棟、40.5%、合わせて99.8%を占めている。

表4-5 建物階数別現況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日))

区域区分	地上1階 棟	地上2階 棟	地上3階 棟	地上4~5階 棟	地上6~7階 棟	地上8~10階 棟	地上11階~15階 棟	地上16階以上 棟
都市計画区域	7,293	5,293	91	9	0	0	0	0
非線引き用途地域	1,575	1,376	42	7	0	0	0	0
非線引き用途白地	5,718	3,917	49	2	0	0	0	0

### C0402-2 建物構造別現況

都市計画区域における建物構造別の現況をみると、都市計画区域全体で木造建物の占める割合が高く、68.2%が木造となっている。用途地域指定区域内外でもこの値に大きな差はなく、用途地域指定区域内で61.9%、区域外で66.3%となっている。

表4-6 建物構造別現況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日))

区域区分	木造 棟	非木造 棟	鉄筋コンクリート造 棟
都市計画区域	7,983	4,694	9
非線引き用途地域	1,856	1,144	0
非線引き用途白地	6,127	3,550	9

### C0402-3 建物建築面積別現況

都市計画区域における建築面積別の現況をみると、建築面積50㎡以下の建物と75㎡~150㎡以下の建物の占める割合が高く、それぞれ45.1%と29.0%となっており、全体の7割を占めている。建築面積の合計は12,686棟、1,094,221.91㎡で平均面積は86.25㎡となっている。

また、用途地域指定地域内、区域外ともに50㎡以下の建物が最も多く、平均建築面積は96.5㎡と83.08㎡であり、用途地域指定区域の方が広がっている。

表4-7 建物建築面積別現況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日))

区域区分	50㎡以下 棟	75㎡以下 棟	150㎡以下 棟	500㎡以下 棟	1500㎡以下 棟	1500㎡超 棟	3000㎡超 棟	合計面積 ㎡	平均面積 ㎡
都市計画区域	5,719	2,000	3,675	1,125	136	25	6	1,094,221.91	86.25
非線引き用途地域	1,167	455	1,073	242	52	10	1	289,486.63	96.50
非線引き用途白地	4,552	1,545	2,602	883	84	15	5	804,735.28	83.08

#### C0402-4 建物延床面積年別現況

都市計画区域における延床面積別の現況をみると、延床面積 50 m<sup>2</sup>以下の建物が最も多く、4,731 棟、37.3%、次いで 75 m<sup>2</sup>～150 m<sup>2</sup>以下の建物が 3,903 棟 30.8%、150 m<sup>2</sup>～500 m<sup>2</sup>以下の建物が 2,439 棟 19.2%となっている。延床面積の合計は 1,471,442.85 m<sup>2</sup>、平均面積は 115.99 m<sup>2</sup>となっている。

また、用途地域指定地域内、区域外ともに 50 m<sup>2</sup>以下の建物が最も多く、平均延床面積は 140.96 m<sup>2</sup>と 108.26 m<sup>2</sup>であり、用途地域指定区域の方が広がっている。

表 4－8 建物延床面積別現況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日))

区域区分	50m <sup>2</sup> 以下	75m <sup>2</sup> 以下	150m <sup>2</sup> 以下	500m <sup>2</sup> 以下	1500m <sup>2</sup> 以下	3000m <sup>2</sup> 以下	3000m <sup>2</sup> 超	合計面積 m <sup>2</sup>	平均面積 m <sup>2</sup>
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟		
都市計画区域	4,731	1,389	3,903	2,439	165	36	23	1,471,442.85	115.99
非線引き用途地域	1,025	248	963	674	59	22	9	422,876.51	140.96
非線引き用途白地	3,706	1,141	2,940	1,765	106	14	14	1,048,566.34	108.26

#### C0402-5 建物建築年別現況

都市計画区域における建築年別の現況をみると、昭和 56 年以前に建てられた建物が 4 割以上を占めている。また、新しく建てられる建物数は減少しており、令和 2 年から 5 年までの 4 年間で 322 棟の建物が新しく建てられている。

表 4－9 建物建築年別現況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日))

区域区分	昭和56年以前			昭和57年～平成元年			平成2年～11年			平成12年～21年			平成22年～31年(令和元年)			令和2年～			不明		
	棟数 棟	建築面積 m <sup>2</sup>	延床面積 m <sup>2</sup>	棟数 棟	建築面積 m <sup>2</sup>	延床面積 m <sup>2</sup>	棟数 棟	建築面積 m <sup>2</sup>	延床面積 m <sup>2</sup>	棟数 棟	建築面積 m <sup>2</sup>	延床面積 m <sup>2</sup>	棟数 棟	建築面積 m <sup>2</sup>	延床面積 m <sup>2</sup>	棟数 棟	建築面積 m <sup>2</sup>	延床面積 m <sup>2</sup>	棟数 棟	建築面積 m <sup>2</sup>	延床面積 m <sup>2</sup>
都市計画区域	3,720	431,419.46	329,228.32	1,209	191,175.42	139,385.18	1,698	294,111.34	295,298.06	1,155	178,313.10	121,272.31	575	89,696.67	69,282.74	322	57,636.13	41,703.60	4,007	229,090.73	197,071.69
非線引き用途地域	950	143,957.76	102,445.40	353	69,683.10	47,937.18	448	49,050.07	54,088.24	287	53,010.48	33,494.90	155	22,717.91	15,452.46	95	17,194.73	12,305.92	712	27262.46	23762.52
非線引き用途白地	2,770	287,461.70	226,782.92	856	121,492.32	91,448.00	1,250	205,061.27	151,209.82	868	125,302.62	87,777.41	420	66,978.76	44,810.28	227	40,441.40	29,397.68	3,295	201,828.27	173,309.17

#### C0402-6 建物高さ別現況

都市計画区域における建物高さ別の現況をみると、都市計画区域内のほとんどの建物が 1～3 階建てに相当する 5m～10m の建物となっている。

表 4－7 建物建築高さ別現況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日))

区域区分	5m以下	10m以下	12m以下	15m以下	20m以下	25m以下	30m以下	35m以下	40m以下	45m以下	45m超
	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟	棟
都市計画区域	87	12,571	14	14	0	0	0	0	0	0	0
非線引き用途地域	18	2,967	7	8	0	0	0	0	0	0	0
非線引き用途白地	69	9,604	7	6	0	0	0	0	0	0	0

## ⑤ 都市施設

### C0501 都市施設の位置、内容等

松川町の道路は5路線が都市計画決定されており、総延長6,380m、整備率57.9%となっている。

公園・緑地は、街区公園が2ヶ所、近隣公園が1ヶ所の計3ヶ所が都市計画決定されており、都市計画未計画決定の都市公園が2ヶ所の合計5ヶ所あり、全て開設済みである。

その他の都市施設として、公共下水道、下伊那北部火葬場が都市計画決定されている。

表5-1 都市施設の整備状況

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日現在))

決定年月日	都市施設名称	都市計画決定事項	事業期間	備考
S43.9.16	3・5・1 中央線	総延長1,470m 幅員14.0m	昭和48年7月11日 ~ 昭和60年3月31日	整備済 1,470m
〃	3・5・2 新井西線	総延長1,490m 幅員14.0m	昭和46年9月20日 ~ 昭和50年3月31日	整備済 384m
〃	3・5・3 国道線	総延長1,840m 幅員12.0m	~昭和50年3月31日	整備済 1,840m
〃	3・5・4 市の坪線	総延長1,050m 幅員12.0m		未整備
〃	3・5・5 団地東線	総延長 530m 幅員12.0m		未整備
S43.9.26	2・2・1 松川公園	街区公園 0.2ha	昭和43年9月26日 ~ 昭和44年3月31日	開設面積 0.2ha
〃	2・2・2 富士森公園	街区公園 0.6ha	平成2年12月27日 ~ 平成5年3月31日	開設面積 0.6ha
S49.10.28	3・4・1 台城公園	近隣公園 6.5ha	昭和49年11月7日 ~ 昭和54年3月31日	開設面積 6.5ha
H4.11.30	公共下水道	面積 200ha		
H16.2.19		面積 203ha		供用開始済
S25.7.25	下伊那北部火葬場	面積 0.97ha	平成25年7月 ~ 平成27年7月	供用開始済 計画決定のみで施設は存在しない

## ⑥ 交通

### C0601 主要な幹線の断面交通量・混雑度・旅行速度

令和3年の断面交通量のうち、松川町の南北を縦断する国道153号は、上新井の交差点から北は7,949台/12h、南は11,617台/12hの交通量がある。西の上段に位置する主要地方道飯島飯田線は5,392台/12h、天竜川の東側に位置する主要地方道伊那生田飯田線は、福与付近で3,752台/12hの交通量が見られ、町の南北間交通量は約20,000台/12hあることがわかる。

東西間路線では、主要地方道松川インター大鹿線、一般県道上片桐停車場線及び同上片桐停車場鶴部線がある。主要地方道松川インター大鹿線は6,341台/12hの交通量があり、また、大型車混入率が23.1%と非常に高くなっている。その他の一般県道は、500台/12h未満にとどまっている。

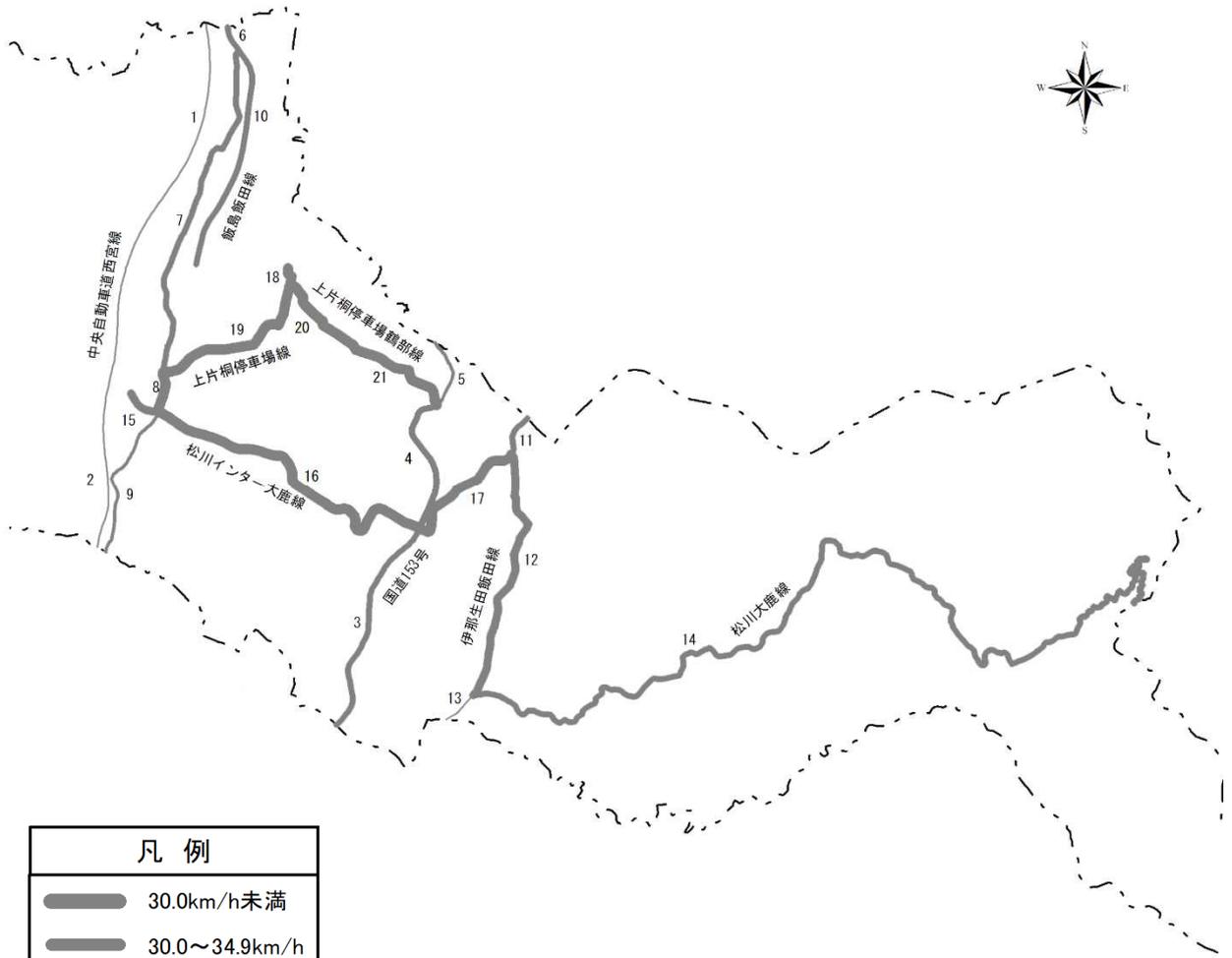
混雑時平均旅行速度を見ると、国道153号は中川村方面から一般県道上片桐停車場鶴部線までは44.1km/hだが、その交差点から高森町方面へ南下するにつれ40.0km/hを下回っている。東西間の路線は、交通量が比較的少ないが、勾配のある路線であることなどから、40.0km/hを下回っている。

表6-1 主要道路断面交通量・混雑度・旅行速度

(令和3年度全国道路・街路交通情勢調査)

路線名	観測地点名	平日 12時間 交通量 台	平日 24時間 交通量 台	大型車 混入率 %	混雑度	混雑時 平均 旅行速度 km/h	位置図 対 応 番 号
中央自動車道西宮線	駒ヶ岳スマート～松川	15,737	25,693	35.5	0.47	90.2	1
	松川～座光寺スマート	14,214	23,867	36.5	0.47	89.9	2
一般国道153号	下伊那郡高森町山吹5860-2(山吹交差点)	11,617	15,451	12.1	0.93	35.9	3
	下伊那郡松川町元大島2819-26	7,949	10,334	13.3	0.68	35.9	4
	下伊那郡松川町元大島2819-26	7,949	10,334	13.3	0.68	44.2	5
主要地方道飯島飯田線	下伊那郡松川町上片桐329	5,392	6,848	12.7	0.60	38.4	6
	下伊那郡松川町大島811-7	2,729	3,357	3.7	0.70	39.3	7
	下伊那郡松川町大島811-7	2,729	3,357	3.7	0.70	29.0	8
	下伊那郡高森町出原208	2,608	3,208	0.7	0.92	42.1	9
	下伊那郡松川町上片桐329	5,392	6,848	12.7	0.62	35.7	10
主要地方道伊那生田飯田線	下伊那郡松川町生田673	2,461	3,027	9.5	0.32	36.9	11
	下伊那郡松川町生田673	2,461	3,027	9.5	0.35	34.4	12
	下伊那郡豊丘村河野2598	3,752	4,765	8.6	0.67	46.1	13
主要地方道松川大鹿線	下伊那郡松川町生田柄山5015	225	243	9.3	0.08	39.2	14
主要地方道松川インター大鹿線	下伊那郡松川町大島1184	3,131	3,945	23.1	0.36	31.1	15
	下伊那郡松川町元大島1415-3	6,341	8,180	10.6	0.68	25.7	16
	下伊那郡松川町元大島1992-1	3,843	4,688	13.4	0.42	26.0	17
一般県道上片桐停車場線	下伊那郡松川町上片桐3151-7	449	516	2.7	0.47	24.4	18
	下伊那郡松川町上片桐3151-7	449	516	2.7	0.47	27.0	19
一般県道上片桐停車場鶴部線	下伊那郡松川町上片桐4339-2	129	139	11.6	0.84	21.5	20
	下伊那郡松川町上片桐4339-2	129	139	11.6	0.09	23.5	21

混雑時平均旅行速度分布図  
(令和3年)



凡 例	
	30.0km/h未満
	30.0～34.9km/h
	35.0～39.9km/h
	40.0～44.9km/h
	45.0～49.9km/h
	50.0km/h以上
	行政界

### C0603 鉄道・路面電車等の状況

松川町内のJR駅は、上片桐駅と伊那大島駅の2駅がある。

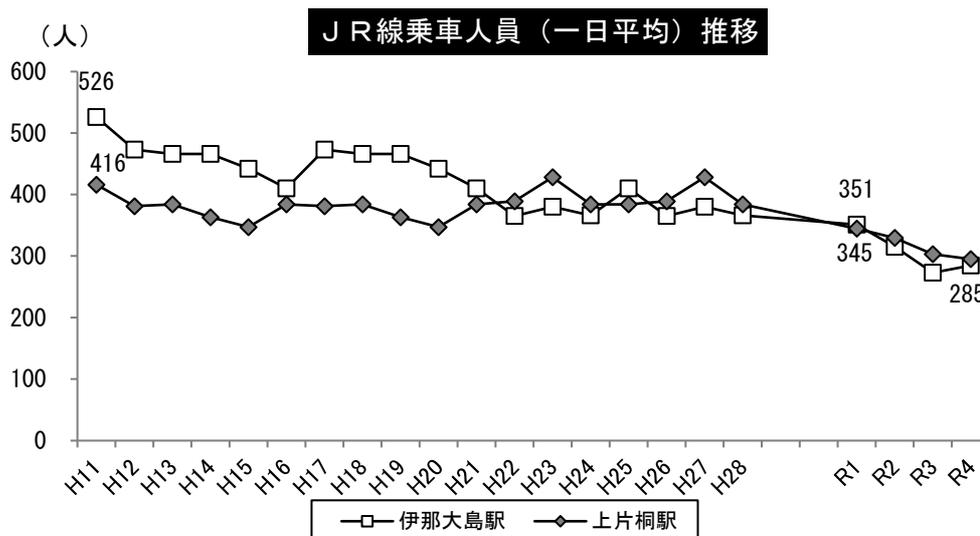
一日平均乗車人員の推移を見ると、平成11年には伊那大島駅が526人/日、上片桐駅が416人/日の利用があったが下降傾向にあり、近年は両駅とも300～350人/日へと減少し、令和3年以降300人/日以下へ割り込んでいる。

表6-2 JR線乗車人員（一日平均）

資料：長野県の統計、東海旅客鉄道株式会社東海鉄道事業本部、統計情報リサーチ

単位：人/日平均

年次	伊那大島駅	上片桐駅
平成11年	526	416
平成12年	473	381
平成13年	466	384
平成14年	466	363
平成15年	442	347
平成16年	410	384
平成17年	473	381
平成18年	466	384
平成19年	466	363
平成20年	442	347
平成21年	410	384
平成22年	365	389
平成23年	380	428
平成24年	366	384
平成25年	410	384
平成26年	365	389
平成27年	380	428
平成28年	366	384
令和元年	351	345
令和2年	315	330
令和3年	273	303
令和4年	285	295



### C0604 バスの状況

バスの状況は、令和5年よりコース数を減らし、町内4コースを循環する松川町コミュニティバス（まつかわフルーツバス）が運行している。一部路線ではフリー乗降区間が設置されており、鉄道や医療機関を利用するための高齢者や通学者をはじめ多くの町民に利用されている。

## 自然的環境等 C0803 緑の状況

都市計画区域内の緑被地面積は、樹林地 474.3ha、草地 145.2ha、農地 1,128.0ha となっており、農地が多くを占め、水面は 65.2ha となっている。

用途地域指定区域の緑被地面積は 35.3ha であり、農地が 28.4ha と最も多く、全体の 80.5% を占めている。

表 8 - 1 緑被地の計量

(松川町調査(基準日:令和6年3月31日現在))

区 分	被 緑 地 面 積			水面面積
	樹林地	草地	農地	
都 市 計 画 区 域	474.3	145.2	1,128.0	65.2
用 途 地 域 指 定 区 域	4.6	2.3	28.4	0.5
用 途 地 域 指 定 外 区 域	469.7	142.9	1,099.6	64.7

